



Husqvarna[®]



330i, 535i XP[®]

目次

はじめに.....	2	トラブルシューティング.....	32
安全性.....	4	搬送、保管、廃棄.....	33
組立.....	12	主要諸元.....	34
Operation (動作).....	14	アクセサリ.....	35
メンテナンス.....	24	EC 適合宣言.....	37

はじめに

用途

本製品は、樹木の鋸断を目的としています。

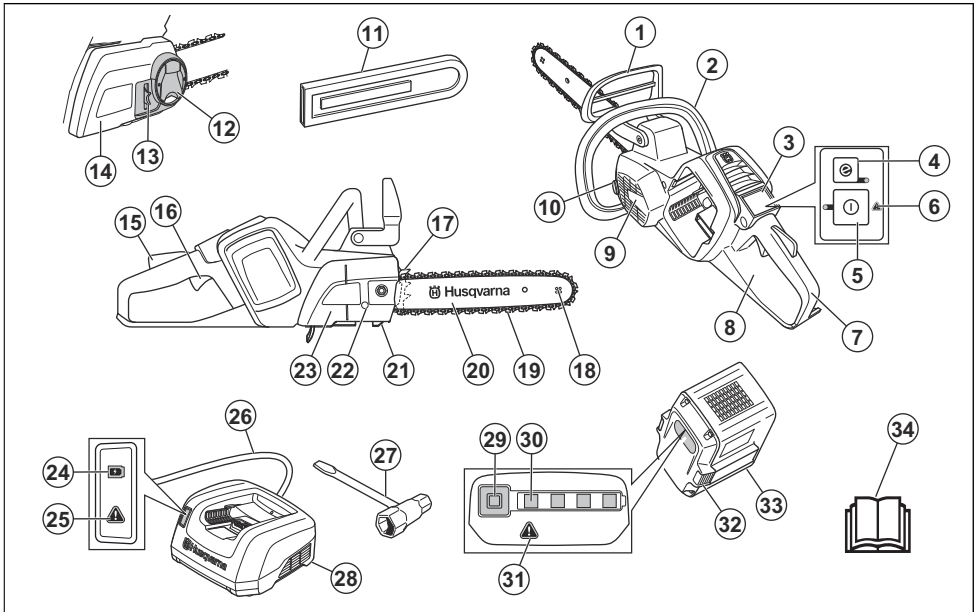
注記： 本製品の使用においては、国内の規制が課せられる場合があります。

製品の説明

Husqvarna 330i, 535i XP は電気モーターで動作するチェーンソーモデルです。

弊社では、皆様の安全と作業の効率性を向上させるため、常に製品の改善に力を入れています。詳しくは、サービス代理店までお問い合わせください。

製品の概要



1. フロントハンドガード
2. フロントハンドル
3. キーパッド
4. SavE ボタン
5. 警告インジケータ
6. スタート/ストップボタン
7. 右手ガード付きリヤハンドル
8. 情報と警告ラベル
9. ファンハウジング
10. チェンオイルタンク
11. ガイドバーカバー
12. ノブ (330i)
13. チェンテンションホイール (330i)
14. ドライブスプロケットカバー (330i)

15. パワートリガーロック
16. パワートリガー
17. スパイクバンパー
18. ノーズスプロケット
19. ソーチェン
20. ガイドバー
21. チェンキャッチャー
22. チェンの張り調整ネジ
23. ドライブスプロケットカバー (535i XP)
24. 充電 LED
25. 警告インジケータ
26. 電源ケーブル
27. コンビレンチ
28. バッテリー充電器
29. ボタン、バッテリーの状態
30. バッテリーの状態
31. 警告インジケータ
32. バッテリーリリースボタン
33. バッテリー
34. 取扱説明書

製品に表記されるシンボルマーク



作業者や付近にいる人の重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。十分に注意し、本製品を正しく使用してください。本製品を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みになり、指示内容をよく理解してください。



認可されたヘルメット、イヤマフ、および防護メガネを着用してください。



本製品は EC 指令適合製品です。



環境に対する騒音レベルは EC 指令 2000/14/EC およびニューサウスウェールズの法規「Protection of the Environment Operations (Noise Control) Regulation 2017」に準拠しています。騒音排出データは、本機のステッカーと主要諸元の章に記載されています。



警告！ガイドバー先端に物体が接触すると、キックバックが発生する場合があります。それによりガイドバーが作業者の方向にはじかれます。重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。



チェンブレーキ、作動 (右)。チェンブレーキ、解除 (左)



チェンオイル



ソーチェンの回転方向とガイドバーの最大長。



定格電圧、V。



直流。



水の飛沫から保護します。



環境マーク 本製品や本製品のパッケージは、一般廃棄物ではありません。電気・電子機器の認定済み処理業者にリサイクルを依頼してください。

yyyyywwxxxxx

製造番号は銘板に記載されています。yyyy は製造年、ww は製造された週です。

注記： 本製品に付いている他のシンボル／銘板は、一部の市場地域に向けた認定条件を示します。

バッテリーやバッテリー充電器のシンボルマーク



電気・電子機器のリサイクル業者にリサイクルを依頼してください。(ヨーロッパにのみ適用)



安全装置付き変圧器。



バッテリー充電器は屋内でのみ使用、保管してください。



二重絶縁。

安全性の定義

各シグナルワードの重大度の定義は次のとおりです。



警告： 人身傷害。



注意： 製品の損傷。

注記： この情報は、本製品を使用しやすくするためのものです。

パワーツールの一般的な安全上の警告



警告： 警告および指示はすべて読んでください。警告や指示に従わない場合、感電、火災、あるいは深刻な傷害を招くことがあります。

注記： すべての警告や説明は、以後の参考のために保管してください。警告の「パワーツール」とは、電源で作動する（コード付）パワーツールまたはバッテリー駆動（コードレス）のパワーツールを指します。

作業エリアの安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ちます。乱雑な、あるいは暗い場所では、事故が起こりやすくなります。
- 可燃性の液体や気体、塵がある所など、爆発性雰囲気の中でパワーツールを作動させないでください。パワーツールは、塵やガスを発火させる火花を発生させます。
- パワーツールの操作中は子供やそばにいる人たちと十分な距離を置いてください。注意が散漫になると、操作ミスを引き起こす可能性があります。

電気保安

- パワーツールのプラグはコンセントに適合しなければなりません。決してプラグを改造しないでください。アダプタープラグをアースの付いた（接地された）パワーツールとともに使用しないでください。改造されていないプラグおよび型の同じコンセントを使用することで、感電のリスクが低くなります。
- パイプやラジエーター、レンジ、冷蔵庫など、アースの付いた表面または接地された表面に触れないようにしてください。体が接地していたりアースされていると、感電のリスクが高くなります。
- パワーツールを雨露や湿潤な環境に曝さないでください。パワーツール内に水が入ると、感電のリスクが高まります。

- コードを本来の目的以外に使用しないでください。コードを持ってパワーツールを移動したり、引っ張ったり、電源を抜いたりすることのないようにしてください。熱やオイル、とがった先端や可動部品にコードを近づけないでください。コードが破損したり絡まると、感電のリスクが高くなります。
- 屋外でパワーツールを操作する場合は、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外での使用に適したコードを使用することで、感電の危険性は少なくなります。
- 湿気のある場所でパワーツールを操作せざるを得ない場合は、電源を保護するために漏電遮断器（GFCI）を使用してください。GFCIは感電の危険を低減します。

個人の安全

- パワーツールを操作するときは、十分に気をつけて慎重に行動し、常識に従って行動してください。疲れているときや、医薬品およびアルコールの影響が残っている状態でパワーツールを使用しないでください。パワーツールの操作中は、一瞬の不注意が重大な傷害につながる可能性があります。
- 身体保護具を使用してください。常に眼の保護具を着用してください。防塵マスクや滑り止め用の安全靴、ヘルメット、イヤマフを使用すると、負傷の危険性が少なくなります。
- 予期せぬ始動を防止します。電源およびバッテリーパックを接続したり、ツールを拾ったり運ぶ前に、必ずスイッチがオフの位置にあることを確認してください。スイッチに指を置いてパワーツールを運んだり、スイッチが入った状態でパワーツールに圧力をかけると、事故につながります。
- パワーツールをオンにする前に、調整キーとレンチを外してください。パワーツールの回転部品にレンチやキーが取り付けられたままになっていると、怪我の原因となります。
- 無理な体勢で作業しないでください。常に、安定した足場とバランスを保つようにしてください。こうすることで、予期しない事態でもパワーツールを安定した状態に保つことができます。
- 適切な服装を心がけてください。ゆったりした衣服や装身具を身につけないでください。可動部品に髪の毛や衣服、手袋を近づけないでください。ゆったりした衣服や装身具、長髪は可動部品に絡まる恐れがあります。
- 集塵装置の接続用装備が提供されている場合、それらが接続されて正しく使用されているか確認してください。集塵装置を使用すると、塵に関連する危険を回避できます。
- パワーツールの使用で発生する実際の振動は、公称合成振動値と異なり、ツールの使用方法に依存します。作業者は、自分自身を保護する目的で、実際の使用状況（ツールの電源をオフにする回数および、トリガー動作やアイドル運転の回数など、運転サイクルのあらゆる部分を考慮）における振動暴露予測を基本にした安全対策を確認する必要があります。

パワーツールの使用と手入れ

- パワーツールを無理に使用しないでください。用途に合った正しいパワーツールを使用してください。正しいパワーツールを使用した方が、意図された速度でより良く安全に作業を行えます。
- スイッチが機能しない場合はパワーツールを使用しないでください。スイッチで制御できないパワーツールは危険なため、修理する必要があります。
- 調整やアクセサリの変更を行ったり、パワーツールを保管する前に、電源プラグを外し、パワーツールからバッテリーパックを取り外してください。予防的な安全対策を行うことで、誤ってパワーツールを始動させる危険性が少なくなります。
- 使用していないパワーツールは子供の手の届かない所に保管して、パワーツールやこの取扱説明書に詳しくない人間がパワーツールを操作しないように注意してください。不慣れなユーザーがパワーツールを扱うと危険です。
- パワーツールのメンテナンスを行ってください。可動部品の調整やバインド、部品の破損やパワーツールの動作に影響する他の状態がないかどうか確認します。破損している場合は、使用する前にパワーツールを修理してください。ほとんどの事故は、正しいメンテナンスを受けていないパワーツールが原因です。
- 切削工具は研いだ状態で清潔に保ちます。正しくメンテナンスされて研いである切削工具は、バインドすることも少なく、制御が簡単です。
- パワーツール、アクセサリ、工具ビットなどは、これらの取扱説明書に従って使用し、作業条件および行う作業を考慮してください。意図されていない作業でパワーツールを使用すると、危険な状況を招くことがあります。

バッテリーツールの使用と手入れ

- メーカー指定の充電器のみを使って充電してください。1種類のバッテリーパックのみに適合する充電器は、それ以外のバッテリーパックの充電で使用した場合、火災を起こす恐れがあります。
- 仕様で指定されたバッテリーパックのみでパワーツールを使用してください。それ以外のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災を招く危険があります。
- バッテリーパックを使用しないときは、ペーパーリップ、コイン、キー、爪きり、ネジなどの金物、あるいは端子間を短絡する恐れがある他の小さな金物から遠ざけるようにしてください。バッテリー端子の短絡は、火傷や火災を引き起こす恐れがあります。
- 劣悪な環境では、液体がバッテリーから漏れ出すことがあります。そのような場合、液体には触れないようご注意ください。もし万が一誤って触れてしまった場合、水で洗い流してください。液体が目に入った場合、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れ出した液体は、炎症や火傷を引き起こすことがあります。

サービス

- パワーツールのサービスは、資格のある修理担当者が同じ交換部品を使って行うようにしてください。こうすることで、パワーツールの安全性を維持できます。

チェンソーに関する安全上の警告

- チェンソーの操作中は、体のあらゆる部分をソーチェンから遠ざけるようにしてください。チェンソーを始動する前に、ソーチェンが何にも接触していないことを確認してください。チェンソーの操作中は、一瞬の不注意が、ソーチェンによる衣服や身体の巻き込み事故につながる可能性があります。
- チェンソーを持つときは、必ず右手でリアハンドルを、左手でフロントハンドルを握ってください。逆の手でチェンソーを持つと怪我をする危険性が高まるため、この行為は絶対におやめください。
- ソーチェンは隠れた配線や自身のコードに接触する可能性があるため、絶縁グリップ面だけを掴んでパワーツールを持ってください。ソーチェンが「通電」している配線に接触することで、パワーツールの露出している金属部分が「通電」状態となることがあり、使用者が感電する危険性があります。
- 保護メガネおよびイヤマフを装着してください。さらに、頭、手、脚と足用の身体保護具の着用を推奨します。適切な防護服を着用することで、飛び散る破片による怪我やソーチェンの接触事故を軽減できます。
- 木に登ってチェンソーを使用しないでください。木に登ってチェンソーを操作すると、怪我をすることがあります。
- 常に、安定した足場を確保し、しっかりと水平に固定された安全な足場に立ってチェンソーを操作するようにしてください。ハンゴのように滑りやすく、不安定な足場では、バランスを保ち、チェンソーを制御するのが難しくなります。
- 張力をかけながら枝を扱うときは、スプリングバックに注意してください。木材繊維の張力が解放されたとき、板ばねのようになっている枝で使用者が直撃を受けたり、チェンソーが制御不能になって飛ばされたりすることがあります。
- 低木や若木を伐採する際は、細心の注意を払ってください。細長い形状のものはソーチェンに絡まって、使用者を鞭打つようにぶつかったり、使用者を引っ張ってバランスを崩したりすることがあります。
- チェンソーのスイッチを切って、体から遠ざけるようにして、フロントハンドルを持ちながら運んでください。チェンソーの輸送や保管を行う際は、ガイドカバーを常に取り付けてください。チェンソーを正しく取り扱うことで、動いているソーチェンとの不用意な接触の危険性を減らすことができます。
- 注油、チェンの張り、およびアクセサリの交換に関する指示に従ってください。チェンの不適切な張り具合や注油によって、チェンが破損したり、キックバックの危険性が増加する場合があります。
- ハンドル部は乾燥させて、オイルや油が付着しないようにきれいな状態を保ってください。油類が付着

したハンドルは滑りやすく、コントロールし難くなります。

- **樹木や材木のみを切断してください。意図されていない用途にチェーンソーを使用しないでください。たとえば、プラスチック、石材、その他木材以外の建材の切断には、チェーンソーを使用しないでください。**意図されていない用途にチェーンソーを使用することで、危険な状況になる場合があります。
- 最初のうちは、木を鋸断台や架台に載せて切ることを推奨します。

キックバックの原因と使用者による防止方法

キックバックは、ガイドバー先端に何かが接触したとき、あるいは、樹木が近づきすぎて、切断中のソーチェーンに巻き込まれたときなどに発生します。先端が障害物に触れると、反動の力が突然発生し、ガイドバーが上方または使用者に向かって勢い良く戻ってきます。ガイドバーの上部に沿ってソーチェーンに何かが挟まると、ガイドバーが使用者へ向かって急激に押し戻されます。これらの反動による動作はいずれも、チェーンソーの制御を不可能にして、深刻な人的傷害を招くことがあります。チェーンソーに搭載されている安全装置を頼り過ぎないようにしてください。チェーンソーの使用にあたっては、事故や怪我なく切断作業を行うために、いくつかの段階を踏む必要があります。キックバックは、ツールの誤った使用あるいは不適正な操作手順や操作条件などの結果生じるものであり、以下に示す正しい予防措置を講じることで避けることが可能です。

- **親指と他の指で取り囲むようにしっかりとチェーンソーのハンドルを握ります。キックバック力に耐えられるように、両手でチェーンソーを持ちながら、体と腕の位置を決めてください。**適切な予防措置を講じれば、使用者がキックバックを制御できます。チェーンソーを離さないでください。
- **無理な体勢で作業したり、肩の高さよりも上の位置の物体を切断したりしないでください。**こうすることで、先端が偶発的に何かに接触するのを防ぐことができ、不測の事態でもチェーンソーを適切に制御することが可能になります。
- **交換用ガイドバーとチェーンは、ハスクバーナの指定品のみを使用してください。**不適正なガイドバーやチェーンに交換した場合、チェーンの破損やキックバックが起こることがあります。
- **ソーチェーンの目立てやメンテナンスについては、本書の記載にしたがってください。**デプスゲージの高さの減少は、キックバックの増加につながります。

以下の指示は、大切に保管してください。

一般的な安全注意事項



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品は、慎重かつ適切に使用しないと、危険な道具となります。本製品により、操作者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

- メーカーの承認なしに本製品を改造しないでください。他者が改造した製品を使用しないでください。また、必ず純正のアクセサリを使用してください。認定されていない改造は、作業者や付近にいる人の重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。
- チェンオイルの蒸気や切りくずを長期間吸引していると、健康を害する場合があります。
- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な重傷や死亡の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を使用する前に主治医および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。

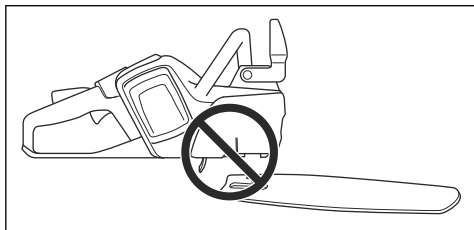
操作のための安全注意事項



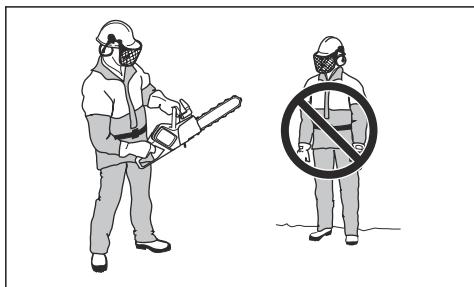
警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書の情報は、専門家の知識や経験に相当するものではありません。現在の状況が安全ではないと思われる場合は、本製品を停止してください。サービスの代理店またはチェーンソーの専門家に相談してください。確信を持ってない作業は行わないでください！
- 本製品の操作について質問がある場合は、サービスの代理店または Husqvarna にご相談ください。本製品を効率的に、安全に操作する方法をご説明します。可能であれば、チェーンソー操作のトレーニングクラスにご参加ください。サービスの代理店、林業学校、図書館などで、トレーニング資料や講習などについての情報が提供されています。
- 本製品を使用する前に、キックバックの影響と、防止方法について理解する必要があります。詳しくは、「キックバックについて 15 ページ」および「キックバックに関するよくある質問 16 ページ」を参照してください。
- 欠陥のある製品、バッテリー、またはバッテリー充電器は絶対に使用しないでください。
- 回転しているソーチェーンに触れないでください。重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。
- 疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に悪影響を及ぼすような医薬品を服用したときは、本製品を使用しないでください。
- 悪天候下での作業は疲れやすく、危険性も高まります。濃霧、豪雨、強風、厳寒、落雷の恐れがあるなど、天候が非常に悪い場合はリスクが高まるため、本製品を使用しないことをお勧めします。
- ガイドバーやソーチェーン、カバー類がすべて正しく装着されていない状態では、本製品を始動しないでください。正しく装着されていない状態で始動すると、ドライブスプロケットが外れて、重症を負うお

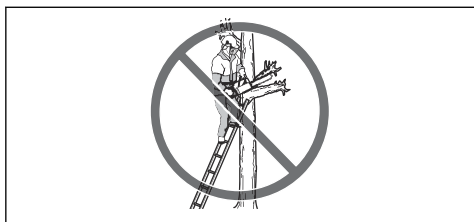
それがあります。詳しくは、「[組立 12 ページ](#)」を参照してください。



- 周囲の状況を確認してください。本製品を操作する際、人や動物が触れたり干渉したりする危険がないことを確認してください。

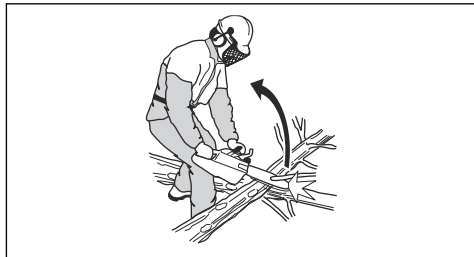


- 本製品を子供に使用させたり、子供のそばで使用したりしないでください。本製品は簡単に始動できます。十分に監視していないと、子供が動かしてしまう可能性があります。これにより、重傷を負う危険があります。
- 監視できない場所に本製品を置く場合や、長時間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
- 本製品を完全に制御するために、安定した場所で作業してください。ハシゴや木の上で本製品を使用しないでください。不安定な場所で本製品を使用しないでください。



- 慎重に扱わないと、キックバックの危険が高まります。ガイドバーのキックバックゾーンが誤って枝や

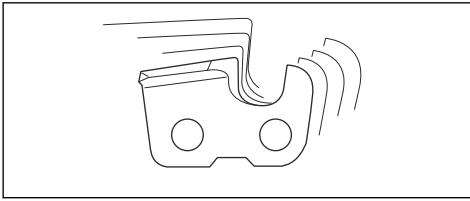
木などに当たると、キックバックが発生するおそれがあります。



- 本製品は片手で操作しないでください。片手では本製品のコントロールが十分にできません。
- 本製品は肩より上で使用しないでください。また、ガイドバー先端で切断しようとししないでください。



- 事故が起こったときに助けを求められない場所で使用しないでください。
- 本製品を移動する場合は、本製品を停止させてチェーンブレーキをかけてください。ガイドバーとソーチェンを後ろに向けて製品を持ちます。搬送前、または少しでも移動する前には、ガイドバーに搬送用ガードを取り付けてください。
- 本製品を地面に置くときは、チェーンブレーキをかけて、常に本製品が視野に入るようにしてください。本製品から離れる際は、たとえ短時間でも、チェーンソーを停止してバッテリーを外すようにしてください。
- 駆動装置に木くずが詰まる危険があります。これにより、ソーチェンが動かなくなることがあります。本製品をクリーニングするときは、必ず停止させてバッテリーを外してください。
- 身体の動きが自由に取れることを確認してください。木の根、岩、枝、溝などの障害物がないか周りの状況や地形を調べてください。斜面で作業するときは、注意してください。
- 適合しない、または適切に目立てされていないカッティング装置を使用して切断すると、振動レベルが上がります。硬木（広葉樹など）を切断するとき、軟木（針葉樹など）を切断するより振動が大きくなります。



- 循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ピリピリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。通常、指、手、手首に発生するこれらの症状は、低温の環境下でよく起こります。
- 自分の能力で対応できない状況での作業は避けてください。
- 本製品の使用時に起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に常識に基づいて注意して使用してください。



使用者の身体保護具



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。



- チェンソー事故の大半は、ソーチェンが使用者に当たった際に発生します。作業中は、認可された身体保護具を着用する必要があります。身体保護具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。使用が推奨される装具については、サービス代理店にお問い合わせください。
- ぴったりとした、ただし動きを制限しない服を着用する必要があります。定期的に身体保護具の状態を確認してください。
- 認可された保護ヘルメットを使用してください。

- 認可されたイヤマフを使用してください。長時間騒音にさらされると、回復不能な聴覚障害になる可能性があります。
- 保護メガネあるいはバイザーを着用し、飛散する物体で負傷しないようにしてください。本製品は、木くず（小さな木片）などの物体を強い力で飛散させます。これにより重傷を負うことがあります。特に目の怪我の原因になることがあります。
- チェンソー用保護グローブを着用してください。
- チェンソー用保護ズボンを着用してください。
- つま先にスチールキャップの入った、滑りにくい靴底のチェンソー用保護ブーツを着用してください。
- 常に救急箱を手元に準備しておいてください。
- 火花の発生による危険。森林火災を防止するため、消火器とシャベルを用意してください。

本製品の安全装置

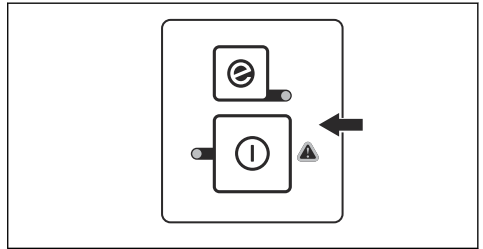


警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 安全装置に欠陥のある製品は使用しないでください。
- 安全装置は定期的に点検してください。製品の安全装置のメンテナンスと点検 24 ページを参照してください。
- 安全装置に欠陥がある場合は、Husqvarna サービス代理店にご相談ください。

キーパッド

チェンブレイキが作動するか、過負荷の危険がある場合、警告インジケータが点滅します。過負荷保護が作動すると、製品は一時的に停止し、温度が戻るまで使用できなくなります。インジケータが点灯している場合は、サービス代理店にお問い合わせください。



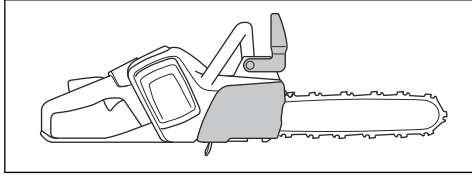
自動停止機能

本製品には自動停止機能が搭載されており、1分以上使用しないと停止します。

チェンブレイキとフロントハンドガード

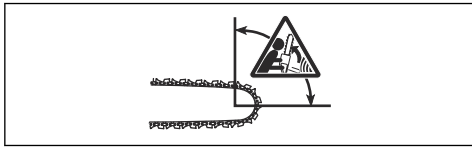
本製品にはチェンブレイキが備わっており、キックバックが発生するとソーチェンが停止します。チェンブレイ

キは事故発生の危険性を軽減しますが、何よりも大切なのは慎重な取り扱いです。

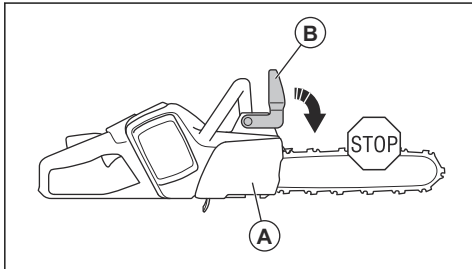


警告: キックバックが発生する危険のある状況を作らないでください。本製品は慎重に使用して、ガイドバーのキックバックゾーンに何も触れないようにしてください。

クゾーンが身体に近い場合は、左手で手でチェンブレイキをかけます。



チェンブレイキ (A) は、左手を使用して手動で、またはイナーシャ機構で自動的に作動させることができます。フロントハンドガード (B) を前方に動かして、チェンブレイキを手動ではめます。この動きにバネを使用した機構が反応し、ドライブスプロケットが停止します。

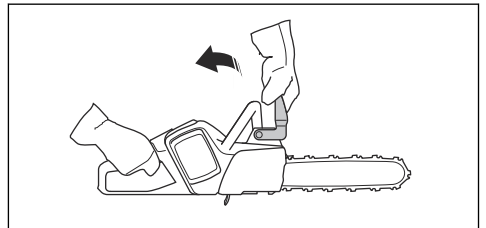


チェンブレイキの動作は、キックバックの強さと本製品の位置によって異なります。キックバックゾーンが身体から最も離れた位置にあるときに非常に強いキックバックが起こった場合、イナーシャ機構によりチェンブレイキがかかります。キックバックの力が弱く、キックバ

本製品を始動するときや、短距離を移動するときは、サイドブレイキのようにチェンブレイキを使用します。これにより、自身や周りにいる人にソーチェンが接触する危険性を低減できます。

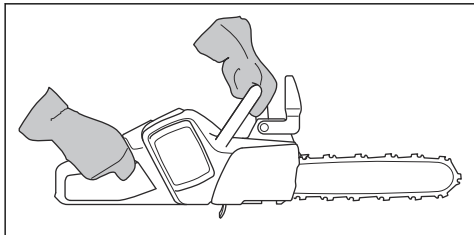


フロントハンドガードを後方に引いて、チェンブレイキを解除します。

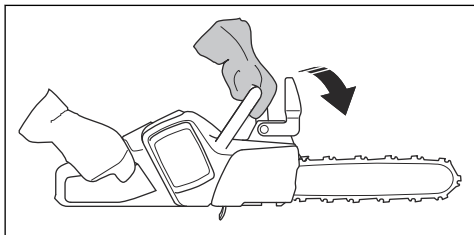


キックバックは突然、強い力で起こることがあります。キックバックのほとんどは弱いもので、いつもチェンブレイキが自動的にかかるとは限りません。本製品の使用

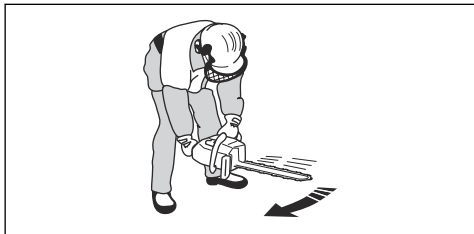
中にキックバックが発生した場合は、ハンドルをしっかり握って、放さないでください。



フロントハンドガードは、手がフロントハンドルから離れた際にソーチェンが接触するリスクを低減します。

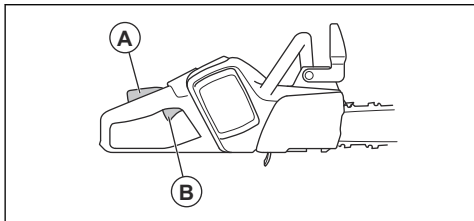


伐倒ポジションでは、手動でチェンブレイキをかけることができません。このポジションでチェンブレイキをかけられるのは、イナーシャ機構だけです。



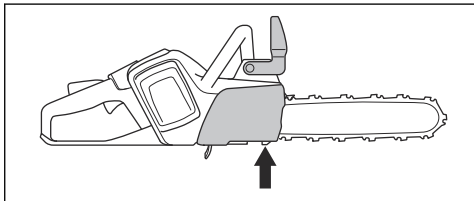
パワートリガーロック

パワートリガーロックは、パワートリガーの操作ミスを防ぐためのものです。ハンドルを持って、パワートリガーロック (A) を押すと、パワートリガー (B) が解除されます。ハンドルから手を放すと、パワートリガーとパワートリガーロックは最初の位置に戻ります。



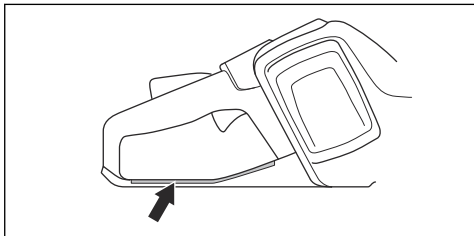
チェンキヤッチャー

チェンキヤッチャーが破損したり、緩みがあったりすると、チェンキヤッチャーがソーチェンに絡まります。適切にチェンを張れば、危険を減少させることができます。ガイドバーとソーチェンを適切にメンテナンスすることで、危険が減少します。詳しくは、「[組立 12 ページ](#)」および「[メンテナンス 24 ページ](#)」を参照してください。



右手ガード

右手ガードは、ソーチェンが破損したり緩んだりした場合、手のガードとして機能します。また、製品を使用する際、枝や小枝が邪魔にならないようにします。



バッテリーの安全



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示を読んでください。

- お使いの製品に推奨されている BLi バッテリーのみを使用してください。バッテリーはソフトウェアで暗号化されています。
- 再充電可能な BLi バッテリーのみを、対応する Husqvarna 製品の電源として使用してください。負傷を防ぐため、このバッテリーを他の装置の電源として使用しないでください。
- 感電のおそれがあります。バッテリーの端子を鍵、ネジ、その他の金属に接触させないでください。これはバッテリーの短絡の原因になる場合があります。
- 再充電できないバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーのエアスロットに物が入らないようにしてください。
- バッテリーは直射日光や熱、裸火から保護してください。バッテリーによりやけどや化学熱傷を負うおそれがあります。

- バッテリーは雨や湿気から保護してください。
- バッテリーは電子レンジや高圧から保護してください。
- バッテリーを分解したり壊したりしないでください。
- バッテリー液が皮膚に触れないようにしてください。バッテリー液は、皮膚の負傷、荒れ、火傷の原因になります。目にバッテリー液が入った場合、目をこすらずに水で15分以上洗浄してください。バッテリー液が皮膚に触れた場合は、大量の水と石けんで皮膚を洗う必要があります。医師にご相談ください。
- バッテリーは-10~40°C (14~104°F) の温度で使用してください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗浄したりしないでください。バッテリーとバッテリー収納部を点検するには26ページを参照してください。
- 不具合や損傷のあるバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーはくぎ、ネジ、または宝飾品などの金属から離して保管してください。
- バッテリーは子供が近づけない場所に保管してください。

バッテリー充電器の安全性



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 安全注意事項を守らないと、感電や短絡の危険があります。
- 認可された、破損のない主電源ソケットを、接地された状態で使用してください。
- 製品の付属品以外のバッテリー充電器は使用しないでください。Husqvarna 交換用バッテリー BLi を充電するときは、Husqvarna QC 充電器のみを使用してください。
- バッテリー充電器を分解しないでください。
- 故障または破損したバッテリー充電器は使用しないでください。
- 電源コードを持ってバッテリー充電器を持ち上げないでください。主電源ソケットからバッテリー充電器を取り外す際は、プラグを引っ張ってください。電源コードを引っ張らないでください。
- すべてのケーブルと延長コードが、水や油、または尖った物に接触しないようにしてください。ドア、フェンスなどの間に、ケーブルが挟まっていないことを確認してください。
- 可燃性の物質や、腐食の原因となる物質の近くでは、バッテリー充電器を使用しないでください。バッテリー充電器の上に覆うものが何もないことを確認してください。煙や火災が発生した場合、バッテリー充電器の電源プラグをコンセントから引き抜いてください。
- バッテリーは、通気がよく直射日光が当たらない屋内でのみ充電してください。屋外でバッテリーを充

電しないでください。濡れた状態でバッテリーを充電しないでください。

- バッテリー充電器は、温度が5~40°C (41~104°F) の場所だけで使用してください。充電器は、通気がよく、埃がない、乾燥した環境で使用してください。
- バッテリー充電器の冷却スロットに物が入らないようにしてください。
- バッテリー充電器が短絡するため、充電器の端子を金属物体へ接触させないでください。
- 認可された、破損していない壁コンセントを使用してください。

メンテナンスのための安全注意事項



警告：本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- メンテナンス、その他の点検、または製品の組み立てを行う前に、バッテリーを取り外してください。
- 作業者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。メンテナンスおよびさまざまなサービスについては、サービス代理店にお問い合わせください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗浄したりしないでください。強い洗剤を使用すると、プラスチックの部品が損傷する場合があります。
- メンテナンスを実施しないと、製品の寿命が短くなり、事故の危険性が増します。
- 特に本製品の安全装置については、すべての整備と修理の作業に特殊な訓練が必要です。メンテナンスを実施した後、この取扱説明書の点検項目の中に不合格の項目があった場合は、サービス代理店にお問い合わせください。当社は、お客様の製品のために、プロフェッショナルな修理と整備を提供することを保証します。
- 純正の交換部品のみを使用してください。

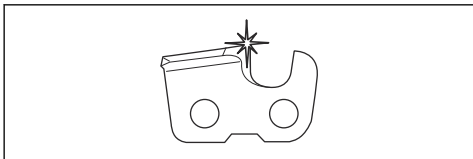
カッティング装置の安全注意事項



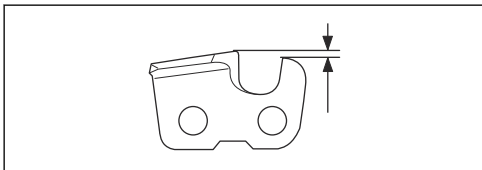
警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 認可されたガイドバー/ソーチェンの組み合わせと目立て装置のみを使用してください。手順については、「主要諸元 34 ページ」を参照してください。
- ソーチェンを使用したりメンテナンスを実施したりするときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも怪我をする場合があります。
- 刃の目立てを正しく行ってください。指示に従って、推奨された目立てゲージをご使用ください。破

損している、または誤って目立てされたソーチェンを使用すると事故の危険性が高まります。

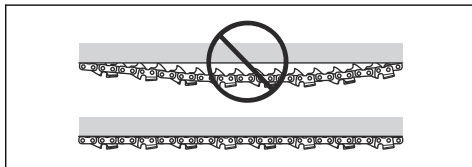


- デブスゲージの設定を正しく守ってください。指示に従い、推奨されているデブスゲージの設定を使用してください。デブスゲージの設定が大きすぎると、キックバックの危険性が高まります。

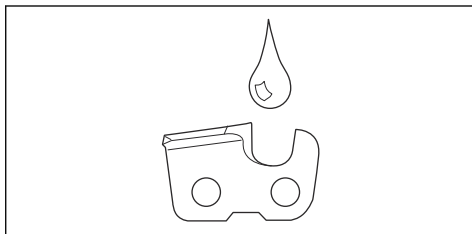


- ソーチェンに適切な張りがあることを確認します。ソーチェンがガイドバーにしっかり取り付けられていないと、ソーチェンが外れる場合があります。ソーチェンを正しく張らないと、ガイドバー、ソー

エン、およびドライブsprocketの摩耗が早まります。ソーチェンの張りの調整方法 29 ページを参照してください。



- カutting装置を定期的にメンテナンスして、適切に注油してください。ソーチェンが正しく注油されていないと、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブsprocketの摩耗が早まります。



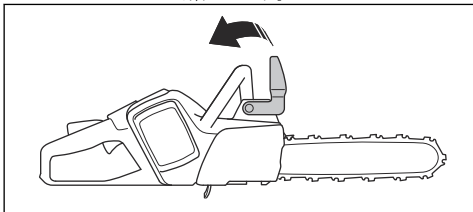
組立

ガイドバーとソーチェンを組み立てるには (330i)

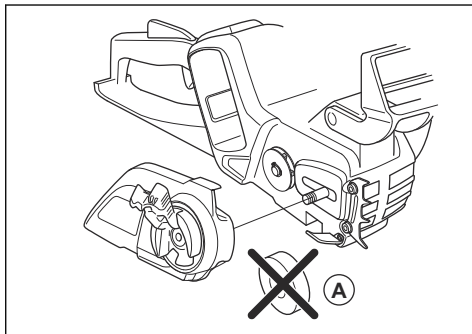


警告：本製品の組み立て、またはメンテナンスを実行する前に必ずバッテリーを外してください。

1. チェンブレイキを解除します。

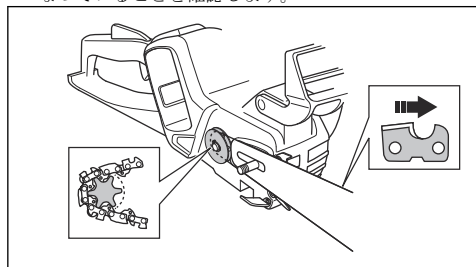


2. ノブを緩めてドライブsprocketカバー（チェンブレイキ）と搬送リング (A) を外します。



3. バーボルトの上にガイドバーを取り付けます。ガイドバーを最後部の位置まで移動します。ソーチェンをドライブsprocketの上まで持ち上げて、ガイドバーの溝にはめます。ガイドバーの上端から装着作業を始めてください。

4. カッターリンクの刃がガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。



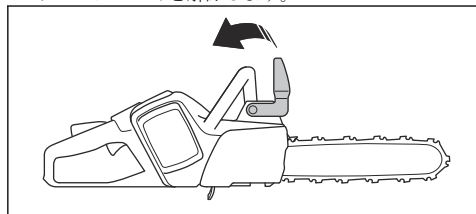
5. カッターリンクの刃がガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。
6. ドライブsproケットカバーを組み立てて、チェーン調整ピンをガイドバーの穴に通します。
7. ソーチェーンのドライブリングがドライブsproケットに正しく取り付けられていることを確認します。
8. ソーチェーンが正しくガイドバーの溝にはまっていることを確認します。
9. ソーチェーンを張ります。詳しくは、「ソーチェーンの張りの調整方法 29 ページ」を参照してください。

ガイドバーとソーチェーンを組み立てるには (535i XP)

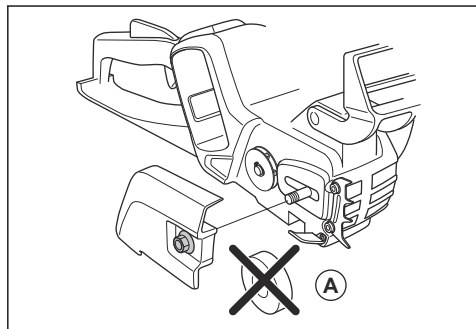


警告：本製品の組み立て、またはメンテナンスを実行する前に必ずバッテリーを外してください。

1. チェンブレイキを解除します。

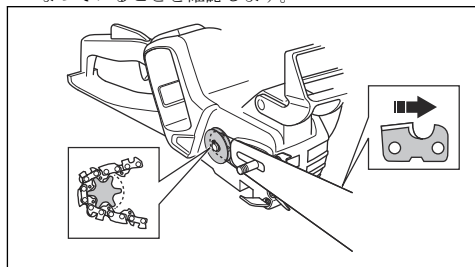


2. バーナットを緩めてドライブsproケットカバーと搬送リング (A) を外します。



3. バーボルトの上にガイドバーを取り付けます。ガイドバーを最後部の位置まで移動します。ソーチェーンをドライブsproケットの上まで持ち上げて、ガイドバーの溝にはめます。ガイドバーの上端から装着作業を始めてください。

4. カッターリンクの刃がガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。



5. カッターリンクの刃がガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。
6. ドライブsproケットカバーを組み立てて、チェーン調整ピンをガイドバーの穴に通します。
7. ソーチェーンのドライブリングがドライブsproケットに正しく取り付けられていることを確認します。
8. ソーチェーンが正しくガイドバーの溝にはまっていることを確認します。
9. バーナットを指できつく締めます。
10. ソーチェーンを張ります。詳しくは、「ソーチェーンの張りの調整方法 29 ページ」を参照してください。

Operation (動作)

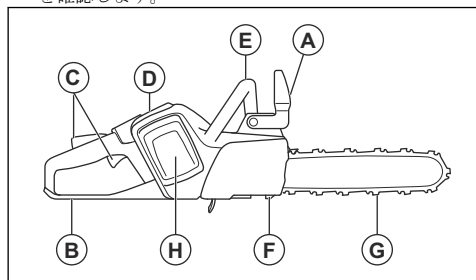
はじめに



警告: 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

製品使用前の機能チェック

1. チェンブレーキ (A) を点検し、正常に作動するか、損傷がないか確認します。
2. 後部右手ガード (B) を点検し、損傷がないか確認します。
3. パワートリガーロック (C) を点検し、正常に作動するか、損傷がないか確認します。
4. キーパッド (D) が正しく動作するか確認します。
5. ハンドル (E) にオイルが付着していないか確認します。
6. すべての部品が正しく取り付けられており、損傷や不足がないことを確認します。
7. チェンキャッチャー (F) を点検し、適切に取り付けられていることを確認します。
8. チェンの張り具合 (G) を点検します。
9. バッテリー (H) が充電されており、製品に正しく取り付けられていることを確認します。
10. パワートリガーを放すとソーチェンが停止することを確認します。



正しいチェーンオイルの使用方法



警告: 人体や環境に害を及ぼすため、廃油は使用しないでください。また、廃油はオイルポンプ、ガイドバー、ソーチェンを損傷させるおそれがあります。



警告: カutting装置の潤滑が十分でない場合、ソーチェンが破損する可能性があります。作業者が重傷を負ったり、死亡事故につながるおそれがあります。



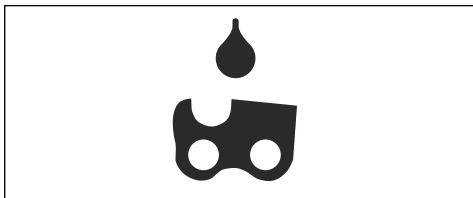
警告: この機能が正常に作動するように、適切なチェーンオイルを使用してください。チェーンオイルの選び方については、お近くのサービス代理店にご相談ください。

- ソーチェンの寿命や環境保護のために Husqvarna 製のチェーンオイルを使用してください。Husqvarna 製のチェーンオイルを入手できない場合は、標準的なチェーンオイルの使用をお勧めします。
- ソーチェン表面に滑らかな皮膜を形成するチェーンオイルを使用してください。
- 外気温に合う適正な粘着性のチェーンオイルを使用してください。



注意: 0°C 未満の温度では、一部のチェーンオイルは粘度が高くなりすぎて、オイルポンプ構成部品が損傷するおそれがあります。

- 推奨されているカutting装置を使用してください。アクセサリ 35 ページを参照してください。
- チェンオイルタンクのキャップを取り外します。
- チェンオイルタンクにチェーンオイルを充填します。
- キャップをしっかりと取り付けます。



注記: 製品のチェーンオイルタンクの位置を確認するには、製品の概要 2 ページを参照してください。

バッテリー充電器を接続するには

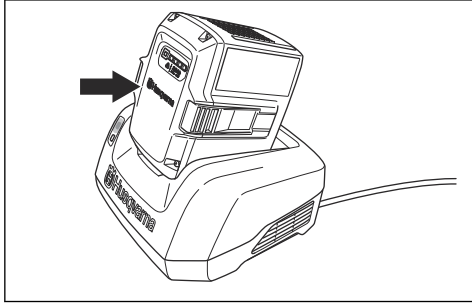
1. 定格プレートで指定されている電圧と周波数の電源にバッテリー充電器を接続してください。
2. 接地された壁コンセントにプラグを差し込みます。バッテリー充電器の LED が一度緑色で点滅します。

注記: バッテリーの温度が 50°C (122°F) を超えると、バッテリーは充電されません。温度が 50°C (122°F) を超えた場合は、バッテリーの温度が下がってから充電器による充電が開始されます。

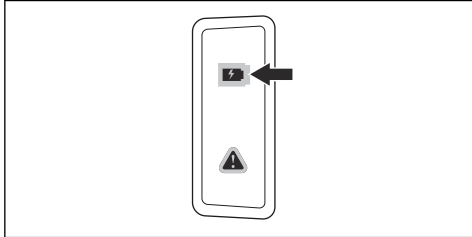
バッテリーとバッテリー充電器を接続するには

注記：初めてバッテリーを使用する場合は、バッテリーを充電してください。新品のバッテリーは30%しか充電されていません。

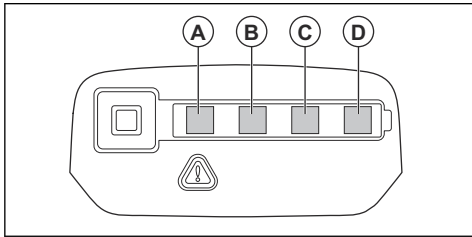
1. バッテリーが濡れていないことを確認してください。
2. バッテリーをバッテリー充電器に取り付けます。



3. バッテリー充電器の緑の充電ライトが点灯していることを確認してください。これにより、バッテリーがバッテリー充電器に正しく接続されていることがわかります。



4. バッテリーのLEDがすべて点灯したら、フル充電されています。



5. 主電源ソケットからバッテリー充電器を取り外す際は、プラグを引っ張ってください。ケーブルを引っ張らないでください。
6. バッテリー充電器からバッテリーを外します。

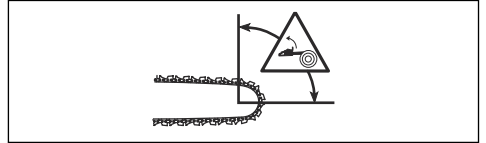
注記：詳細については、バッテリーおよびバッテリー充電器の取扱説明書を参照してください。

キックバックについて



警告：キックバックにより作業員や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。リスクを軽減するには、キックバックの原因とその回避方法を理解しておく必要があります。

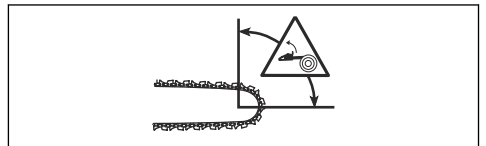
キックバックは、ガイドバーのキックバックゾーンに物体が接触したときに起こります。キックバックは突然発生し、製品本体が作業員に向かって跳ね返ってくる可能性があります。



キックバックは、常にガイドバーの切削面で起こります。通常、本体は作業員に向かって跳ね返りますが、別の方向に向かう場合もあります。キックバック発生時に本製品をどのように使用していたかによって、キックバックの動きの方向が決まります。



キックバックは、ガイドバーのキックバックゾーンに物体が接触したときにのみ起こります。キックバックゾーンに何も接触しないようにしてください。



バー先端の半径が小さいと、キックバックの力が小さくなります。

キックバックの発生を減らすには、低キックバックソーチェンを使用してください。キックバックゾーンに何も接触しないようにしてください。



警告:キックバックが発生しないソーチェンはありません。指示に必ず従ってください。

キックバックに関するよくある質問

- キックバックが起きた場合、必ず手動でチェンブレイキをかけることができますか？

いいえ。フロントハンドガードを前方に押すために、ある程度の力を使う必要があります。必要な力がかからない場合、チェンブレイキはかかりません。作業中は両手でしっかりと製品のハンドルを持ってください。キックバックが発生すると、チェンブレイキがソーチェンを止められず、ソーチェンが人体に接触する可能性があります。また、手がフロントハンドガードに触れず、チェンブレイキをかけられない位置もあります。

- キックバックが起きた場合、必ずイナーシャ機構でチェンブレイキをかけることができますか？

いいえ。まずはチェンブレイキが正しく機能する必要があります。チェンブレイキの点検方法の詳細については、「製品の安全装置のメンテナンスと点検 24 ページ」を参照してください。本製品を使用する前に、毎回実行することをお勧めします。次に、チェンブレイキがかかるには、キックバックが強い力で起こる必要があります。チェンブレイキの感度が高すぎると、負荷の高い作業の際にチェンブレイキがかかりやすくなります。

- キックバック発生時にチェンブレイキをかけると必ず使用者の怪我を防ぐことができますか？

いいえ。怪我を防ぐには、チェンブレイキが適切に動作する必要があります。キックバック発生時には、チェンブレイキも使用してソーチェンを停止させる必要があります。作業者の身体がガイドバーに近い場合、チェンブレイキによるソーチェンの停止が間に合わずに、作業者にソーチェンが当たる可能性があります。

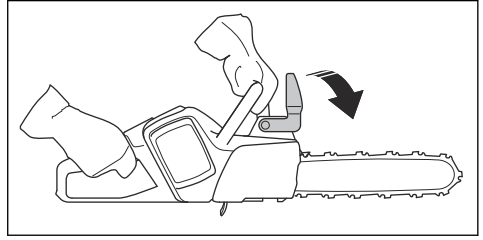


警告:使用者が正しい操作方法で使用した場合にのみ、キックバックを防ぐことができます。

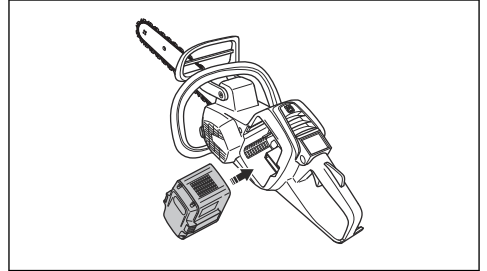
本製品の始動方法

- パワートリガーとパワートリガーロックを点検してください。パワートリガーロックを点検するには 25 ページを参照してください。

- フロントハンドガードを前方に押し、チェンブレイキをはめます。



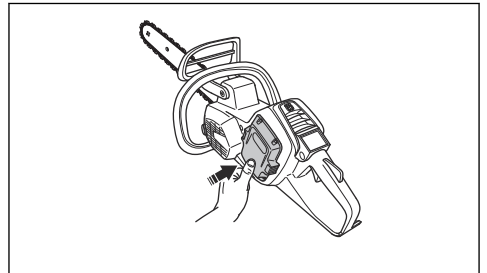
- バッテリーをバッテリーホルダーに取り付けます。



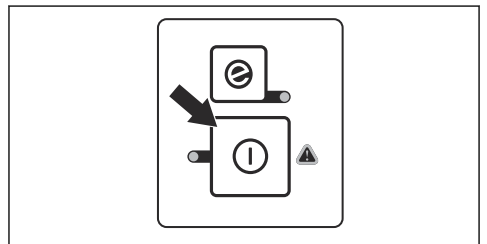
- カチッと音がするまでバッテリーの下部を押しします。



注意: バッテリーがバッテリーホルダーに簡単にはまらない場合は、バッテリーがバッテリーホルダーに正しく取り付けられていません。



- 緑色の LED ランプが点灯するまで、スタート/ストップボタンを押し続けます。



SavE 機能を有効にするには

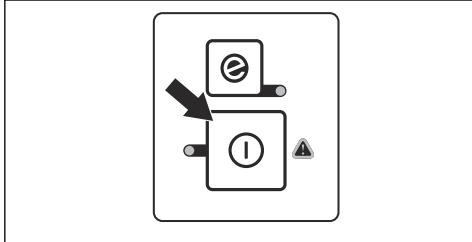
SavE 機能を使用するとチェンの速度は遅くなり、本製品の出力が低下します。

1. SaveE ボタンを押します。緑色の LED が点灯します。
2. もう一度 SavE ボタンを押すと、SavE 機能が停止します。緑色の LED が消灯します。

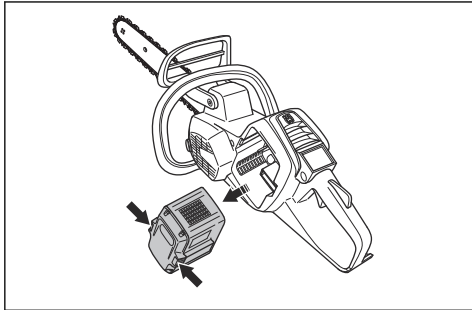


本製品を停止するには

1. 緑色の LED が消灯するまでキーパッドのスタート / ストップボタンを押し続けます。



2. バッテリーを引き出し、バッテリー解除ボタンを押してバッテリーホルダーからバッテリーを取り外します。



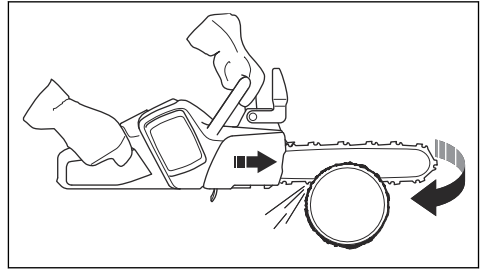
警告： 製品を使用しない、または目の届かない場所に置くときは、バッテリーを取り外し、誤って始動しないようにします。

引き切りと押し切り

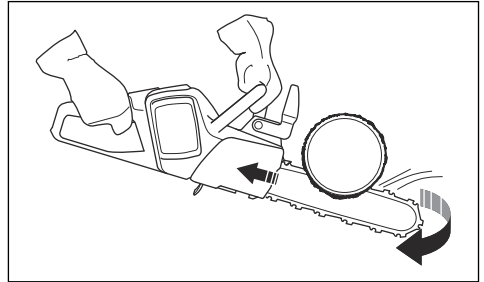
本製品を使用して 2 つの位置から木を切断することができます。

- 引き切りで切断するには、ガイドバーの下部で切断します。切断するとき、ソーチェンが木を引き寄せ

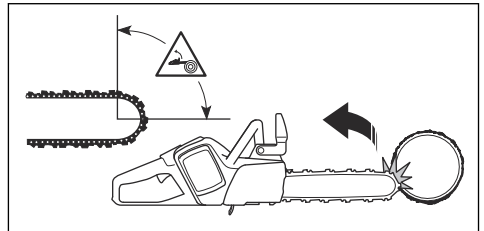
ます。この位置で、本製品とキックバックゾーンの位置をうまく制御できます。



- 押し切りで切断するには、ガイドバーの上部で切断します。ソーチェンが作業者の方向に製品を押し



警告： ソーチェンが幹に引っかかると、製品が作業者に向かって押し出されます。製品をしっかり持ち、ガイドバーのキックバックゾーンが木に触れておらず、キックバックが発生しないことを確認します。



鋸断作業にあたって

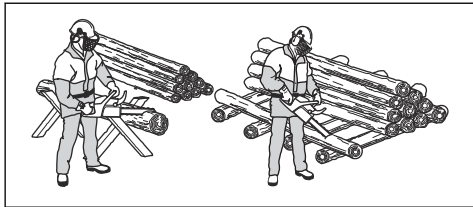


警告： 切断するとき、最大出力で使用し、切断後は速度をアイドリングに落とします。



注意： 負荷のない状態でモーターを長時間稼働させないでください。モーターが損傷するおそれがあります。

1. 幹はソーホースカランナーに置いてください。



警告： 幹を積み重ねて切断しないでください。キックバックの危険が高まり、重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

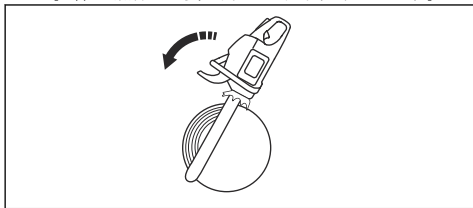
2. 作業済みの木片は作業エリアから撤去してください。



警告： 切断片が作業エリアにあるとキックバックの危険性が増し、バランスを失うおそれもあります。

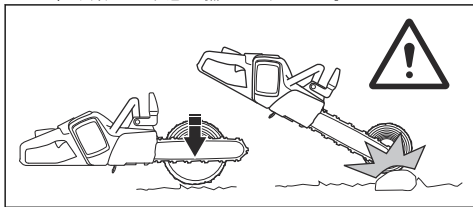
スパイクバンパーを使用するには

1. スパイクバンパーを木の幹に押し当てます。
2. フルスロットルにし、本製品を回転させます。スパイクバンパーは幹に押し当てたままにしてください。幹の鋸断に必要な力をかけやすくなります。



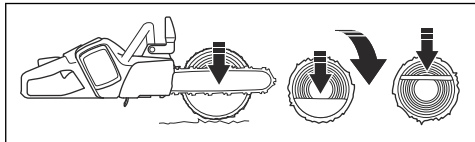
地面で幹を切断するには

1. 幹は引き切りで切断します。最大出力を維持しながら、予期せぬ事態に備えてください。



警告： 切断が完了したときにソーチェンを地面に接触させないでください。

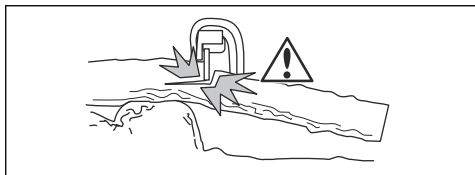
2. 幹の約 2/3 を切断してから停止します。幹を転がし、反対側から切断します。



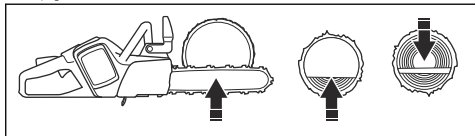
片側だけで支えている幹を切断するには



警告： 切断中に幹が折れないようにしてください。以下の手順に従ってください。



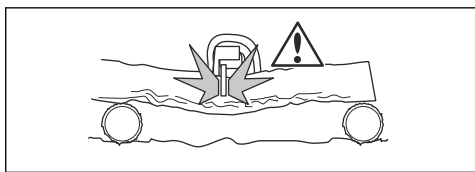
1. 幹を押し切りで約 1/3 切断します。
2. 2 つの切り口が当たるまで引き切りで幹を切断します。



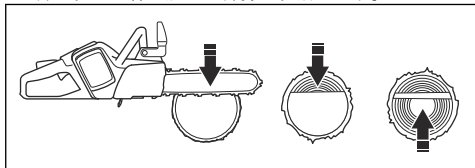
両側で支えている幹を切断するには



警告： 切断中にソーチェンが幹に引っかかるないようにしてください。以下の手順に従ってください。



1. 幹を引き切りで約 1/3 切断します。
2. 押し切りで幹の残りの部分を切断します。





警告：ソーチェンが幹に挟まった場合は、モーターを停止します。てこなどで切り口を広げ、本製品を抜き取ります。本製品を手で引き抜こうとしないでください。本品が突然抜けて負傷する危険があります。

枝払いをするには

注記：太い枝の場合は、切断と同じ方法で行います。鋸断作業にあたって 17 ページを参照してください。

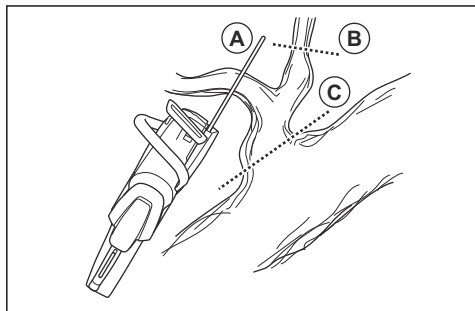


警告：枝払いの手法を使用しているときは、事故の危険性が高くなります。キックバックを防止する方法については、「キックバックについて 15 ページ」を参照してください。



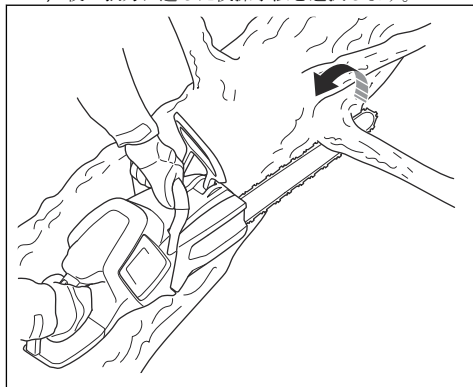
警告：太い枝を 1 本ずつ切断します。小さい枝を切除するときは注意してください。藪を切ること（多数の小枝を同時に切ること）はしないでください。小さい枝がソーチェンに絡まり、本製品を安全に操作できなくなる場合があります。

注記：小さい枝を切断する場合は、1 本ずつ作業します。小さい枝 (A) と (B) を切断してから、幹に近い枝 (C) を切ります。



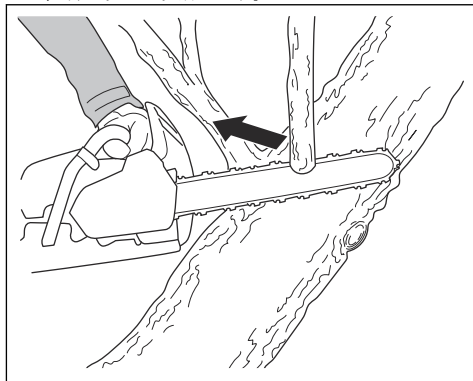
1. 幹の右側にある枝を切断します。
 - a) ガイドバーを幹の右側に固定し、製品本体を木の幹に当てます。

- b) 枝の張力に適した伐採手法を選択します。



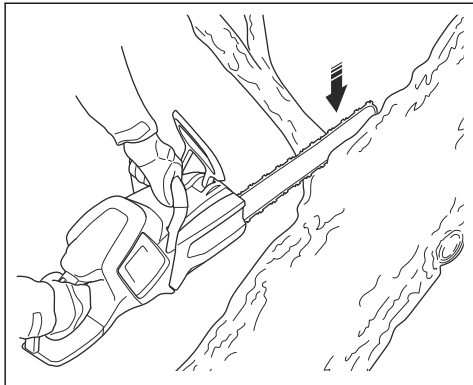
警告：枝を切断する方法がわからない場合は、先にチェーンソーの専門家に相談してください。

2. 幹の上部にある枝を切断します。
 - a) 本製品を木の幹に当てて保持し、ガイドバーを幹に沿って移動させます。
 - b) 押し切りで切断します。



3. 幹の左側にある枝を切断します。

a) 枝の張力に適した伐採手法を選択します。



警告： 枝を切断する方法がわからない場合は、先にチェーンソーの専門家に相談してください。

張力がかかっている枝を切断する方法については、「張力のある木や枝の鋸断 23 ページ」を参照してください。

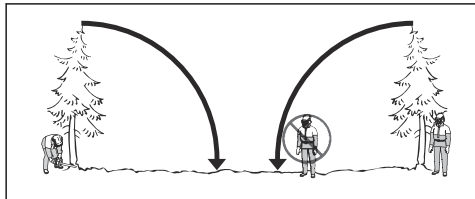
伐倒作業にあたって



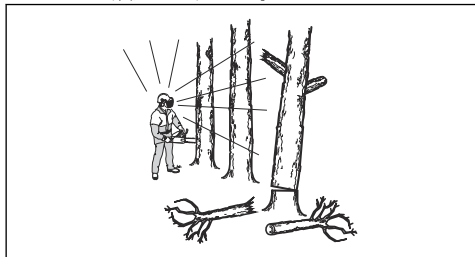
警告： 木を切り倒すには経験が必要です。可能であれば、チェーンソー操作のトレーニングコースに参加してください。経験を積んだ作業者の話を聞いて、知識を深めてください。

安全な距離を保つには

1. 付近にいる人が、木の高さより 2.5 倍以上離れていることを確認してください。



2. 伐倒前と伐倒中に、この「危険領域」内に誰もいないことを確認してください。



伐倒方向を計算するには

1. 伐倒させる必要がある方向を調べます。枝払いや幹切りが簡単に行えるように、伐倒の方向を決めます。また、足場が安定し、安全に移動できる必要があります。



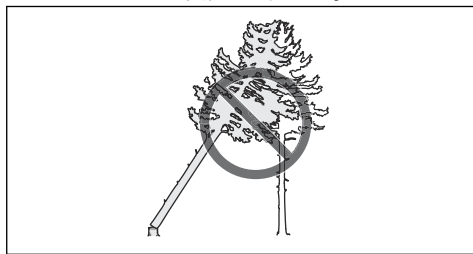
警告： 木が自然に倒れる方向に伐倒すると危険な場合や、それが不可能な場合は、別の方向に倒してください。

2. 木が自然に倒れる方向を調べます。例えば、木の傾きや曲がり方、風の方向、枝の位置や雪の重さなどです。
3. 周辺に他の木、電線、道路、建物などの障害物がないか調べてください。
4. 幹に破損や腐敗がないか調べてください。



警告： 幹が腐敗していると完全に切断する前に木が倒れる危険があります。

5. 伐倒中に折れて頭上に落ちてきそうな割れ枝や枯れ枝がないかどうか確認してください。
6. 木が別の立木に向かって倒れないようにしてください。他の木に引っかかった木を外す作業は危険で、事故の確率も高くなります。引っかかった木を外すには 22 ページを参照してください。

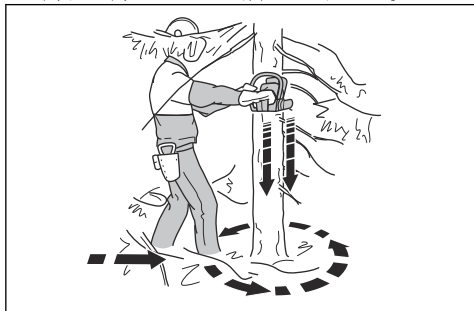


警告： 伐倒作業では、切断作業の完了後すぐにイヤマフを外してください。音や警告信号が聞こえるようにしてください。

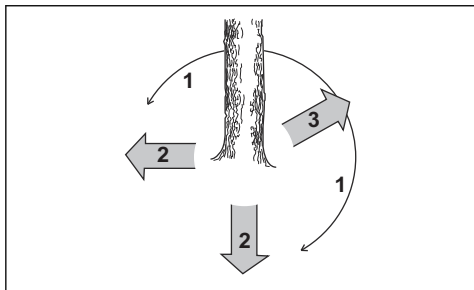
枝払いして退避路を確保するには

肩の高さから下の枝をすべて切り落とします。

1. 上から下に、引き切りで切断します。木が作業者と本製品の間にいることを確認してください。



2. 木の周辺の作業領域から下草を払います。切り落とした木材をすべて作業領域から除去します。
 3. 作業場所に石、枝、穴などの障害物がないか確認してください。木が倒れ始めたときに退避路に障害物がないようにしてください。退避路は、伐倒方向から約 135 度の角度になるように取る必要があります。
1. 危険領域
 2. 退避路
 3. 伐倒方向



伐倒するには

Husqvarna では、木を倒すとき、受け口を作ってから、追いつる切りを行うことをお勧めします。追いつる切りにより、正しいつるを作り、伐倒方向をコントロールすることができます。



警告：木の直径がガイドバーの長さの 2 倍を超える場合は、伐倒しないでください。これには、特別なトレーニングが必要です。

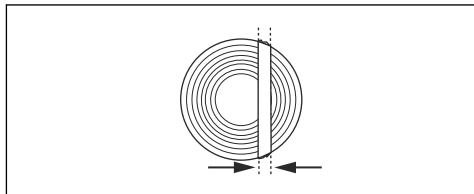
つる

木の伐倒において最も重要な手順は、つるを適切に作ることです。正しいつるであれば伐倒方向をコントロールでき、伐倒手順の安全を確保できます。

つるの太さは、木の直径の 10 % 以上である必要があります。

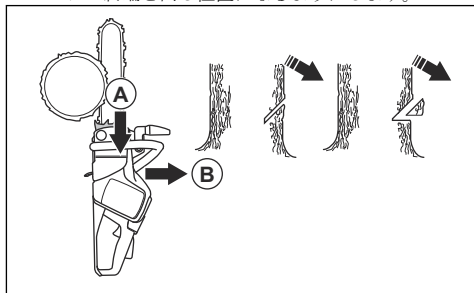


警告：つるが間違っているか細すぎるとは、伐倒方向をコントロールできません。

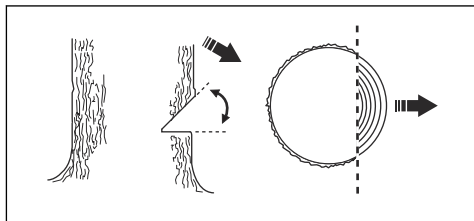


受け口を作るには

1. 受け口を作ります。受け口は木の直径の 1/4 に当たる深さになるようにします。上切り口と下切り口の角度は 45° になるようにします。
 - a) 最初に上切り口を作ります。製品の伐倒方向マーク (A) と木の伐倒方向 (B) を合わせます。製品の後ろに立ち、木が右側に来るようにします。引き切りで切断します。
 - b) 下切り口を作ります。下切り口の終端が上切り口の終端と同じ位置になるようにします。

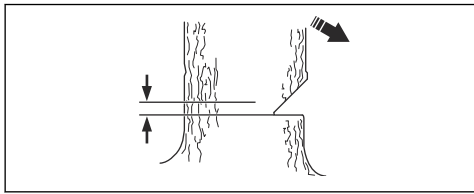


2. 受け口線が完全に水平で、伐倒方向に対して直角 (90°) であることを確認してください。受け口線は、2 つの受け口が接触するポイントを通ります。

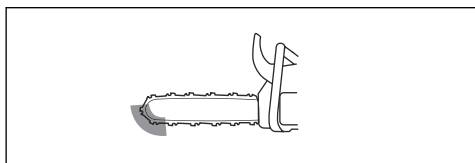


追いづる切りを行うには

追い口は、受け口の少し上に作る必要があります。

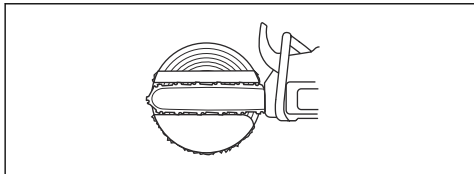


警告: ガイドバー先端を使用して切断するときには注意してください。突っ込み切りをするときは、ガイドバー先端の下部を使用して切断を開始します。



1. 切断に使用できる長さが木の直径より長い場合は、以下の手順 (a-d) に従ってください。

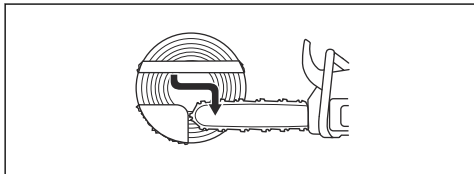
a) 幹にまっすぐに突っ込み切りし、つるを完成させます。



b) 幹の 1/3 が残るまで引き切りで切断します。

c) ガイドバーを 5~10 cm/2~4 インチ後方に引きます。

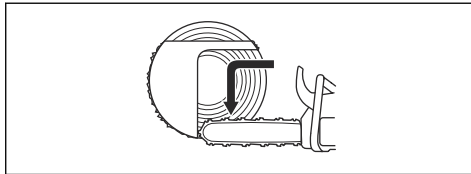
d) 幹の残りを切断して、5~10 cm/2~4 インチ幅の後ろづるを完成させます。



2. 切断に使用できる長さが木の直径より短い場合は、以下の手順 (a-d) を実行します。

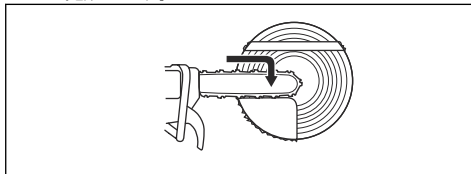
a) 幹にまっすぐに突っ込み切りします。突っ込み切りは、木の直径の 3/5 に及ぶ必要があります。

b) 引き切りで幹の残りの部分を切断します。

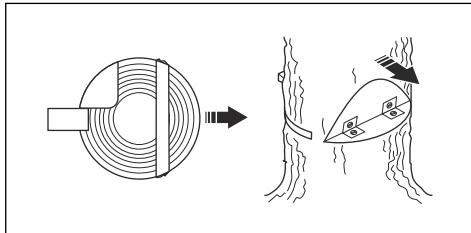


c) 木の反対側から幹にまっすぐに切り込み、つるを完成させます。

d) 幹の 1/3 が残るまで押し切りすると、後ろづるが完成します。



3. 切り口の真後ろからクサビを打ち込みます。



4. つるを切り落として、木を倒します。

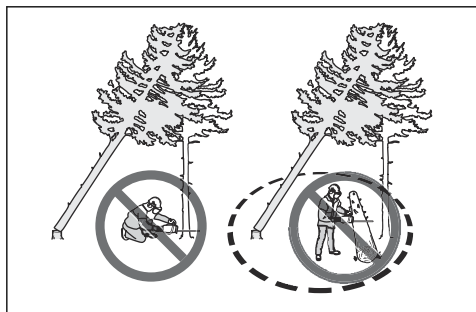
注記: 木が倒れない場合は、倒れるまでクサビを打ち込みます。

5. 木が倒れ始めたら、退避路で、木から離れます。木から 5 m/15 フィート以上離れてください。

引っかけた木を外すには

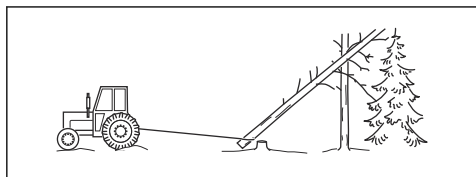


警告: 他の木に倒れかかった木を外す作業は非常に危険で、事故の確率も高くなります。危険ゾーンに入らないようにして、他の木に倒れかかった木を倒そうとしないでください。

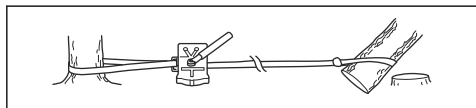


次のいずれかのウィンチを使用すると最も安全です。

- ウインチ付きトラクター

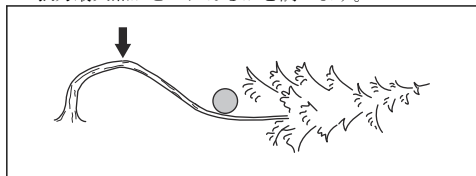


- 携帯ウインチ



張力のある木や枝の鋸断

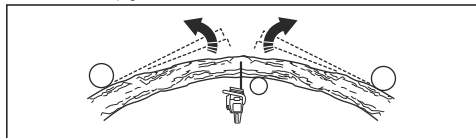
1. 木や枝にどのように張力がかかっているかを調べます。
2. 張力最大点がどこにあるかを調べます。



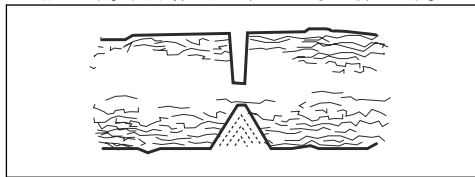
3. 張力を解放する最も安全な手順を調べます。

注記：本製品ではなく、ウインチを使用するほうが安全な場合があります。

4. 張力が解放されたときに、木や枝が当たらない位置に立ちます。



5. 張力を弱めるには、十分な深さの切り口を複数作る必要があります。張力最大点の真上または近くを切断します。張力最大点で木または枝を折ります。

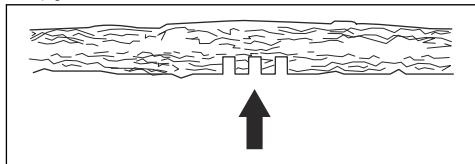


警告：張力のある木や枝は、絶対に1度で切り倒そうとしないでください。

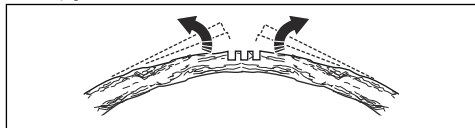


警告：張力のある木を切断するときは十分注意してください。木を切断する前後に木がすばやく動く危険があります。不適切な位置にいる場合、または誤った場所を切断した場合、重傷を負うおそれがあります。

6. 木や枝を切断しなくてはならない場合は、約 2.5 cm 間隔で約 5 cm の深さの切れ込みを 2、3 箇所入れます。



7. 木や枝の屈曲や張力が解放されるまで、木を切断します。



8. 張力が解放されてから、屈曲の反対側から木／枝を切断します。

メンテナンス

はじめに



警告：本製品のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

本製品に必要なメンテナンス手順のリストは以下のとおりです。詳細については、メンテナンス 24 ページを参照してください。

メンテナンススケジュール



警告：メンテナンスを実行する前にバッテリーを外してください。

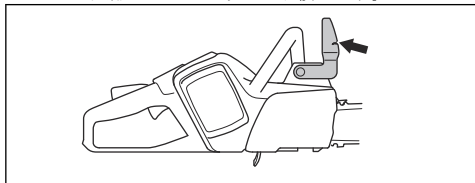
メンテナンス	毎回	毎週	毎月
本製品の外部部品を清掃してください。	X		
パワートリガーとパワートリガーのロック機能が、安全面から見て正しく作動することを確認します。	X		
チェンブレーキを清掃し、チェンブレーキが安全に動作することを確認します。チェンキャッチャーに損傷がないことを確認してください。必要に応じて交換します。	X		
均一に摩耗するように、ガイドバーを回転させます。ガイドバーの潤滑孔が詰まっていないことを確認します。ガイドバーのレール溝を清掃します。	X		
カッターとカッターガードにヒビがなく、損傷していないことを確認します。ヒビがある場合や、衝撃を受けている場合は、カッターやカッターガードを交換します。	X		
ガイドバーとソーチェンに十分なオイルが注油されていることを確認します。	X		
ソーチェンを点検します。ヒビ割れがないか調べて、ソーチェンが粗くなっているか、異常に摩耗していないか確認します。必要に応じ交換します。	X		
ソーチェンを目立てします。ソーチェンの張り状態を点検します。ドライブスプロケットの摩耗を点検し、必要に応じて交換します。	X		
製品の給気口を清掃します。	X		
ネジとナットが確実に締められていることを確認します。	X		
キーパッドが正しく機能し、損傷がないことを点検します。	X		
ヤスリを使用して、ガイドバーの縁からすべてのバリを削り取ります。		X	
バッテリーと本製品の接続を確認してください。バッテリーとバッテリー充電器の接続を確認してください。			X
オイルタンクを空にして洗浄します。			X
製品とバッテリー冷却スロットに圧縮空気を慎重に吹き付けます。			X

製品の安全装置のメンテナンスと点検

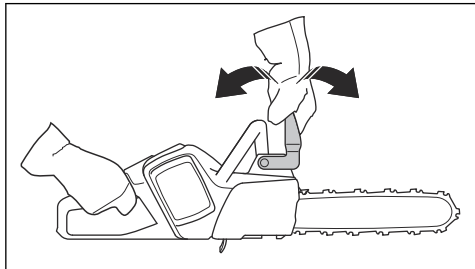
フロントハンドガードを点検するには

定期的にフロントハンドガードとイナーシャ式ブレーキを点検します。

1. フロントハンドガードに損傷がないか、また、ヒビなどの欠陥がないかどうかを点検します。



2. フロントハンドガードが自由に動き、製品に安全に取り付けられていることを確認してください。



3. モーターのスイッチを切って、切り株または安定した場所に製品を置きます。

4. リヤハンドルを持って、フロントハンドルを放します。製品を切り株に向けて落とします。



5. ガイドバーが切り株に当たると、チェンブレイキがかかることを確認してください。

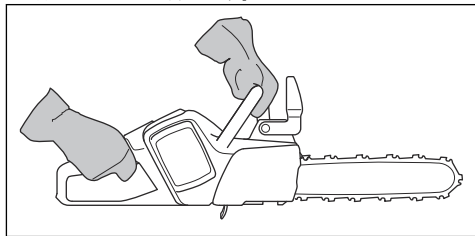
ブレーキトリガーを点検するには

1. 製品を安定した地面に置き、始動します。本製品の始動方法 16 ページを参照してください。

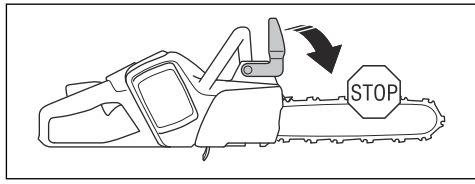


警告：ソーチェーンが地面やその他の物に触れないよう、注意してください。

2. 親指とその他の指でハンドルを包むように持ち、製品をしっかりと持ちます。



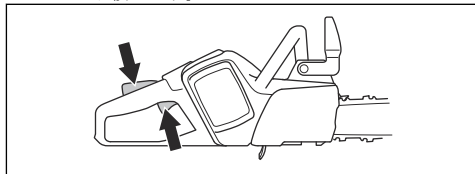
3. 最大出力にして、左手首をフロントハンドガードに向けて傾けてチェンブレイキをかけます。ソーチェーンがすぐに停止する必要があります。



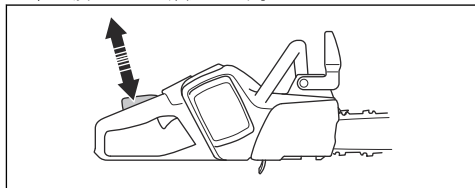
警告：このとき、フロントハンドルから手を放さないでください。

パワートリガーロックを点検するには

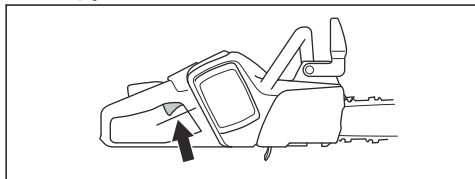
1. パワートリガーとパワートリガーロックがスムーズに動き、リターンズプリングが正しく機能していることを点検します。



2. パワートリガーロックを押し下げて、放すと元の位置に戻ることを確認します。



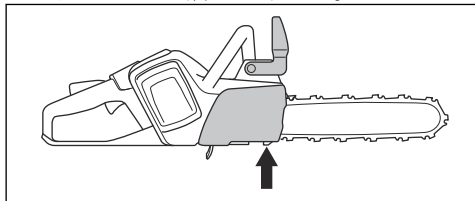
3. パワートリガーロックを解放したとき、パワートリガーがアイドリングの位置になっていることを確認します。



4. 本製品を始動し、最大出力にします。
5. パワートリガーを解放し、ソーチェンの回転が停止して静止状態が保たれていることを確認します。パワートリガーがアイドリング位置にあるにもかかわらずソーチェンが回転する場合は、お近くのサービス代理店にご相談ください。

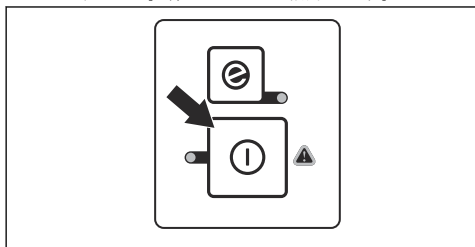
チェンキャッチャーを点検するには

1. チェンキャッチャーが損傷していないことを確認してください。
2. チェンキャッチャーが安定し、製品本体に取り付けられていることを確認してください。



キーパッドを点検するには

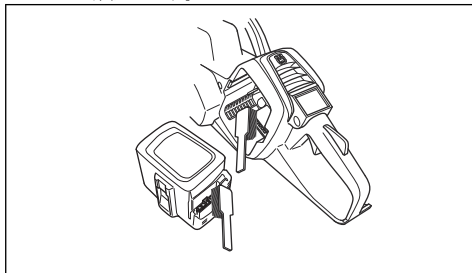
1. 本製品を始動します。参照：本製品の始動方法 16 ページ
2. もう一度スタート/ストップボタンを押します。
3. ボタンを長押しすると、製品が停止することを確認してください。緑色の LED が消灯します。



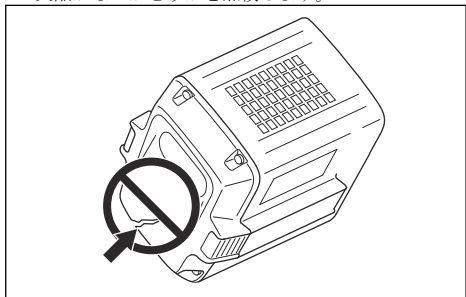
バッテリーとバッテリー収納部を点検するには

1. バッテリーとバッテリー収納部を柔らかいブラシで掃除します。

2. 冷却スロットとバッテリーコネクタがきれいであることを確認します。

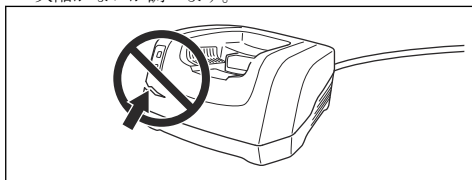


3. バッテリーに損傷がないか、また、ヒビ割れなどの欠陥がないかどうかを点検します。



バッテリー充電器を点検するには

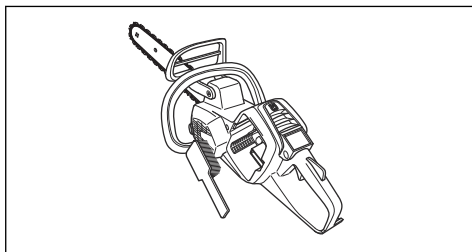
1. バッテリー充電器および電源ケーブルが破損していないことを確認してください。ヒビ割れやその他の欠陥がないか調べます。



冷却システムを清掃するには

本製品には冷却システムが搭載されており、本体の温度を可能な限り低く保ちます。

冷却システムは、製品の左側にある空気取り込み口とモーターのファンで構成されます。



1. 必要に応じて、ブラシを使用して、週に 1 回以上冷却システムを清掃してください。
2. 冷却システムに汚れや詰まりがないことを確認してください。



注意：冷却システムに汚れや詰まりがあると、製品が過熱する原因になります。過熱によりピストンやシリンダが損傷することがあります。

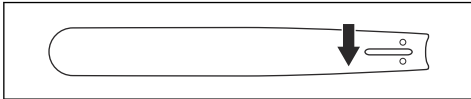
ソーチェンを目立てするには ガイドバーとソーチェンの詳細



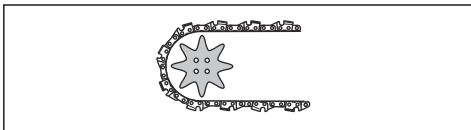
警告：ソーチェンを使用したりメンテナンスを実施したりするときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも怪我をする場合があります。

摩耗または損傷があるガイドバーやソーチェンは、Husqvarna 推奨のガイドバーとソーチェンの組み合わせで交換してください。これは、製品の安全機能を維持するために必要です。推奨される交換用ガイドバーとチェンの組み合わせリストについては、「アクセサリ 35 ページ」を参照してください。

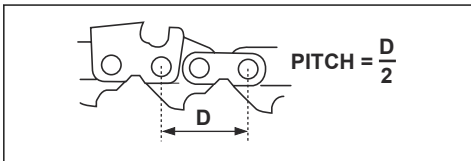
- ガイドバーの長さ (インチ/cm)。ガイドバーの長さに関する情報は、ガイドバーの後部に記載されています。



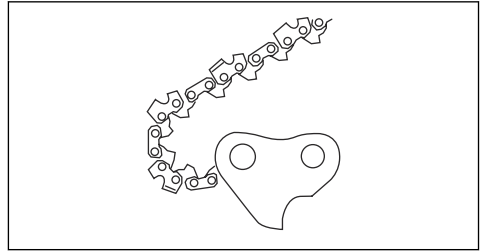
- ノーズsprocketの歯の数 (T)。



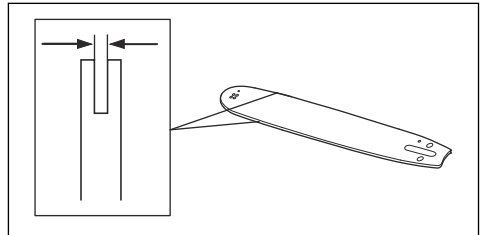
- チェンのピッチ (インチ)。ソーチェンのドライブリンク同士の間隔と、ノーズsprocketの歯とドライブsprocket間の間隔とが一致するようにしてください。



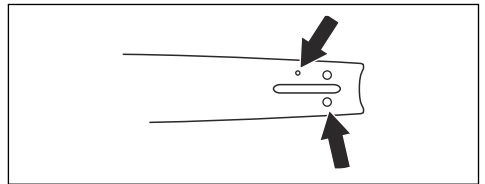
- ドライブリンクの数。ドライブリンク数は、ガイドバーの種類によって決定されます。



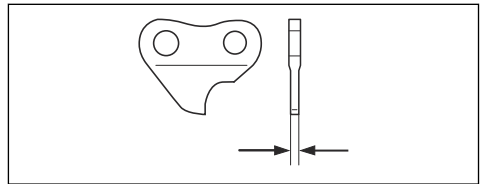
- ガイドバーのレール溝幅 (インチ/mm)。ガイドバーの溝幅は、チェンドライブリンクの幅と同じにする必要があります。



- チェンオイル孔とチェンテンション孔。ガイドバーは製品と一致する必要があります。



- ドライブリンクの幅 (mm/インチ)。



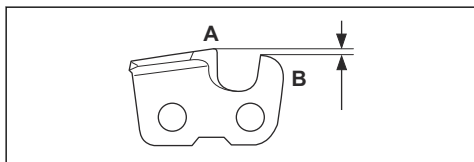
カッターの目立て方法に関する一般情報

刃先が丸くなったソーチェンは使用しないでください。ソーチェンの刃先が丸くなると、より大きな力をかけてガイドバーを木に押し込む必要があります。ソーチェン

の刃先が非常に丸くなると、木片ではなく切りくずが出ます。

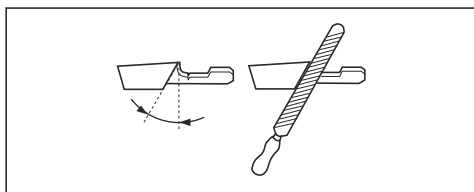
鋭いソーチェンを使用すると、抵抗なく木に切り込むことができ、長く厚い切りくずが出ます。

刃 (A) とデプスゲージ (B) は、ソーチェンの木を切る部分 (カッター) になります。刃とデプスゲージの高さの差が切断深度 (デプスゲージ設定) になります。

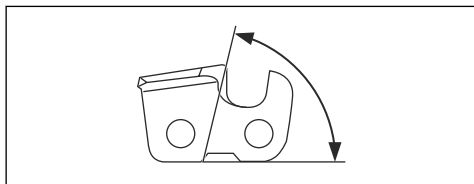


刃を目立てするときには、次のことを考慮してください。

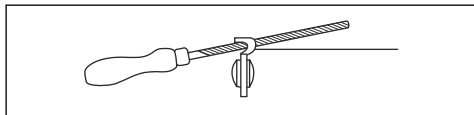
- 目立て角度。



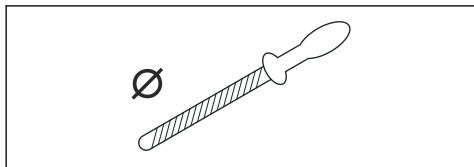
- 切削角度。



- ヤスリの位置。



- 丸ヤスリの直径。

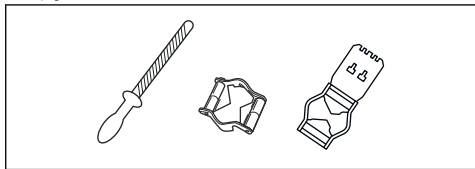


ソーチェンの目立てを正しく行うには、適切な装置を使用する必要があります。Husqvarna 製目立てゲージを使用してください。最高の切削性能を得ることができ、キックバックの危険も最小限に抑えられます。

注記：ソーチェンの目立て方法の詳細については、「刃の目立て方法 28 ページ」を参照してください。

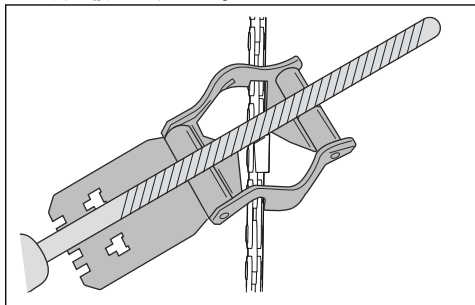
刃の目立て方法

1. 丸ヤスリと目立てゲージを使用して刃を目立てします。



注記：お使いのソーチェンに Husqvarna が推奨するヤスリとゲージの詳細については、「アクセサリ 35 ページ」を参照してください。

2. 目立てゲージを刃に正しく当てます。目立てゲージに付属している説明書を参照してください。
3. ヤスリを刃の内側から外側に動かします。引くときは力を抜いてください。



4. すべての刃の片側にヤスリをかけます。
5. 本製品をひっくり返して、反対側の刃にヤスリをかけます。
6. すべての刃が同じ長さであることを確認してください。

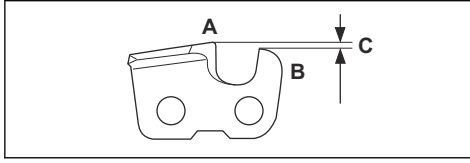
デプスゲージ設定の調整方法に関する一般情報

刃 (A) の目立てを行うと、デプスゲージ設定 (C) が低くなります。切断性能を最良の状態に保つには、推奨されるデプスゲージ設定に達するまで、デプスゲージ (B) に合わせてヤスリをかける必要があります。お使いのソーチェンに適した正しいデプスゲージ設定について詳しく



警告：目立て手順に従わないと、キックバックの力が大きくなります。

くは、「アクセサリ 35 ページ」を参照してください。

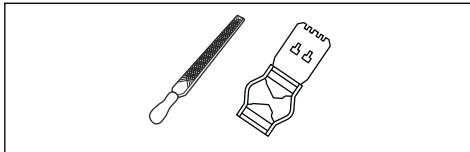


警告：デブスゲージの設定が高すぎると、キックバック発生の危険性が高まります。

デブスゲージの設定を調整するには

デブスゲージ設定の調整、または刃の目立てを行う前に、「刃の目立て方法 28 ページ」で手順を参照してください。デブスゲージ設定の調整は、刃の目立てを 3 回行うごとに 1 回の割合で行うことを推奨します。

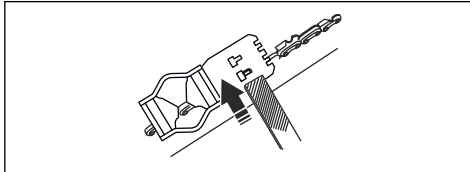
デブスゲージの設定を正しく行い、デブスゲージの角度を調整するために、デブスゲージツールの使用を推奨します。



1. 平ヤスリとデブスゲージツールを使用して、デブスゲージ設定を調整します。必ず Husqvarna 製デブスゲージツールを使用して、デブスゲージの設定を正しく行い、デブスゲージの角度を調整してください。
2. デブスゲージツールをソーチェンに置きます。

注記：デブスゲージツールの使用方法については、ツールのパッケージを参照してください。

3. 平ヤスリで、デブスゲージツールから突き出たデブスゲージ部分にヤスリをかけます。



ソーチェンの張りの調整方法



警告：ソーチェンに適切な張りがないとガイドバーから外れることがあり、重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

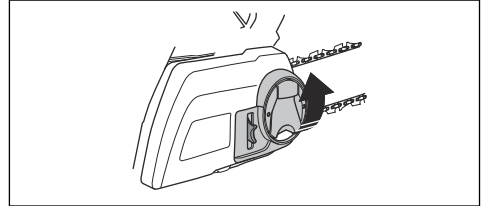
ソーチェンは、使用するにつれ長くなってきます。ソーチェンは定期的に調整してください。チェーンオイルを充

填するたびにソーチェンの張り具合を点検してください。

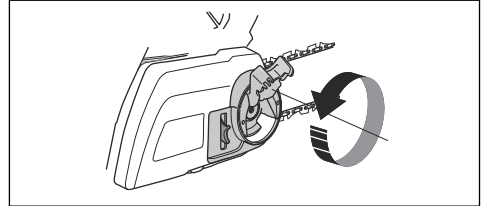
注記：真新しいソーチェンは、慣らし運転が必要です。慣らし運転期間中は、頻繁に点検を行ってください。

ソーチェンの張りの調整方法 (330i)

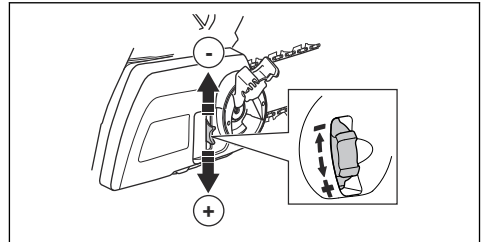
1. ノブを引き出します。



2. ノブを反時計方向に回してドライブスプロケットカバーを緩めます。

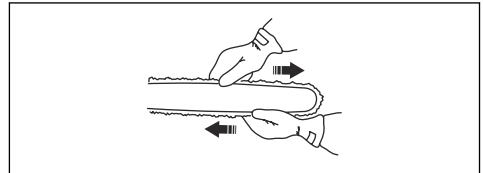


3. チェンテンションホイールを回して、ソーチェンの張りを調整します。ソーチェンはガイドバーに適切に張る必要があります。

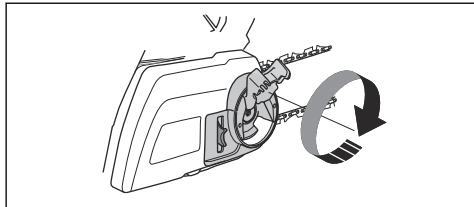


注記：張りを強くするにはホイールを下 (+) に回し、張りを弱めるには上 (-) に回します。

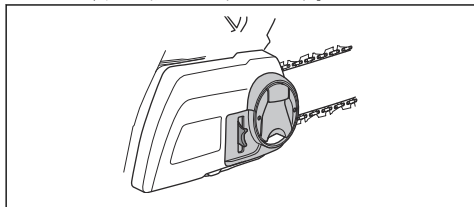
4. ソーチェンを手で自由に回せること、ガイドバーの下側にたるみがないことを確認してください。



5. ノブを時計方向に回して、バーノブを締めます。

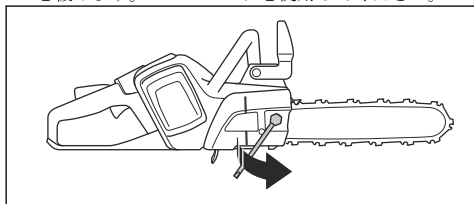


6. ノブを閉じて張りをロックします。



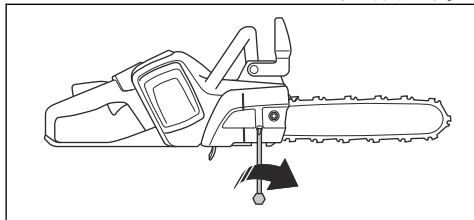
ソーチェーンの張りの調整方法 (535i XP)

1. ドライブスプロケットカバーを保持するバーナットを緩めます。コンビレンチを使用してください。

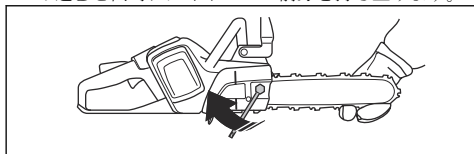


2. ガイドバーの前を持ち上げて、チェーン張りネジを回します。コンビレンチを使用してください。

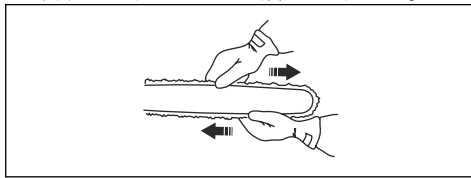
3. ガイドバーにソーチェーンをしっかりと取り付けます。



4. コンビネーションレンチを使用してバーナットを締め込むと同時にガイドバーの前方を持ち上げます。



5. ソーチェーンを手で自由に回せること、ガイドバーの下側にたるみがないことを確認してください。



注記：製品のチェーンの張り調整ネジの位置については、「製品の概要2ページ」を参照してください。

ソーチェーンの潤滑状態を点検するには

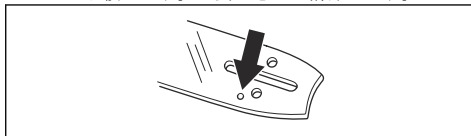
3回目のバッテリー充電時にソーチェーンの潤滑状態を点検します。

1. 本製品を始動し、3/4の出力で運転します。色が薄い場所の上、約20 cm (8インチ)の高さでガイドバーを保持します。
2. ソーチェーンの潤滑状態が良好な場合、約1分後に透明なオイルの線が確認できます。

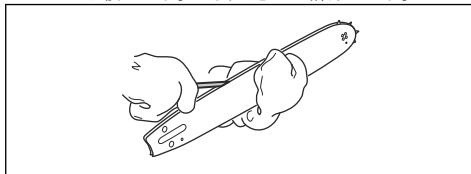


3. ソーチェーンの潤滑状態が不良な場合、次のことを点検してください。

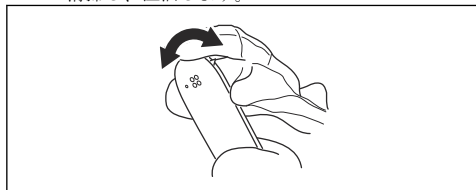
- a) ガイドバーのオイル孔が詰まっているかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



- b) ガイドバーの端にある溝が汚れていないかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



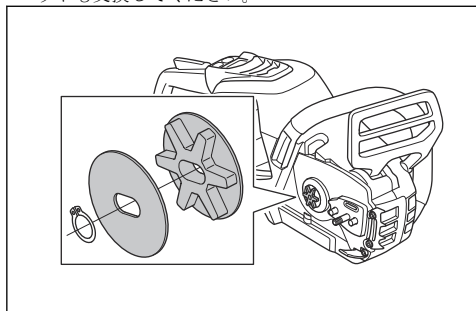
- c) ガイドバーのノーズスプロケットがスムーズに回転するか、またスプロケットのオイル孔が詰まっているかどうか点検します。必要に応じて清掃し、注油します。



4. 上記の手順を実行してもソーチェンの潤滑状態が改善しない場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

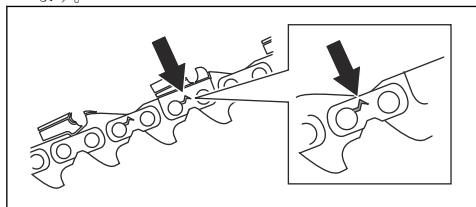
チェンドライブスプロケットの点検方法

- ドライブスプロケットに磨耗がないか点検します。必要に応じてドライブスプロケットを交換します。
- ソーチェンを交換する度にチェンドライブスプロケットも交換してください。



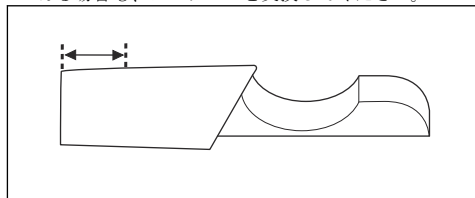
カッティング装置の点検方法

1. リベットやリンクに亀裂がないこと、リベットが緩んでいないことを確認します。必要に応じて交換します。



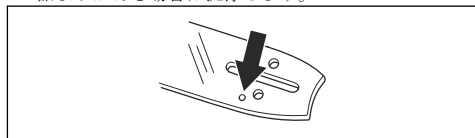
2. ソーチェンが簡単に曲がることを確認します。曲がらない場合はソーチェンを交換します。
3. リベットやリンクが摩耗していないかどうか、ソーチェンを新しいソーチェンと比べます。

4. 刃の最長の部分が 4 mm (0.16 インチ) 未満の場合、ソーチェンを交換してください。カッターに亀裂がある場合も、ソーチェンを交換してください。

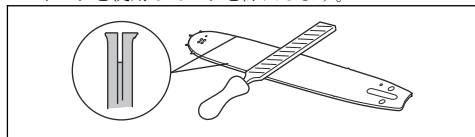


ガイドバーを点検するには

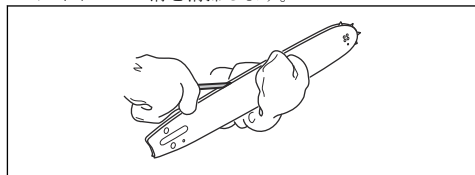
1. オイル孔に詰まりがないことを確認してください。詰まりがある場合は洗浄します。



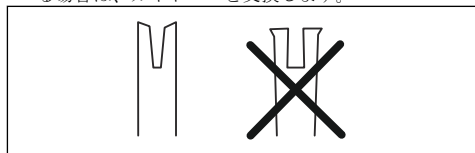
2. ガイドバーの縁にバリがないかどうかを調べます。ヤスリを使用してバリを除去します。



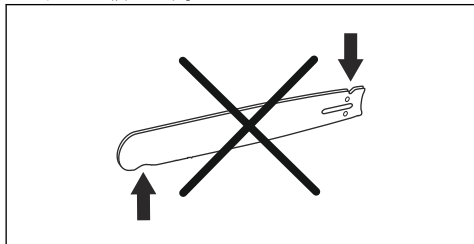
3. ガイドバーの溝を清掃します。



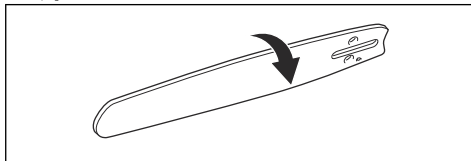
4. ガイドバーの溝に摩耗がないか調べます。摩耗がある場合は、ガイドバーを交換します。



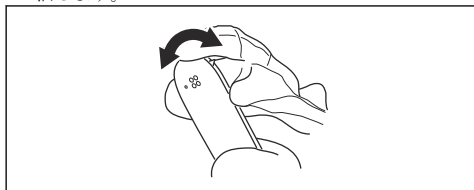
5. ガイドバー先端が粗くなっていないか、摩耗がひどくないか調べます。



7. 寿命を延ばすために、ガイドバーは毎日回転させます。



6. ガイドバーのノーズスプロケットがスムーズに回転すること、スプロケットのオイル孔が詰まっているかどうか点検します。必要に応じて清掃し、注油します。



トラブルシューティング

キーパッド

製品のキーパッドに表示される不具合コード。

LED 表示	想定される障害	対応措置
警告インジケータが点滅。	チェンブレイキがかかっている。	フロントハンドガードを後方へ引いて、チェンブレイキを解放します。
	温度の逸脱。	製品が冷えるまで待ちます。
	過負荷。カッティングアタッチメントが詰まっている。	カッティングアタッチメントが詰まっています。カッティングアタッチメントを解放してください。
	パワートリガーと作動ボタンが同時に押されている。	パワートリガーを放すと、本製品は作動状態になります。
緑色の LED が点滅。	バッテリー電圧が低い。	バッテリーを充電してください。
警告インジケータが点灯。	サービス。	サービス代理店にお問い合わせください。

バッテリー

問題	想定される障害	解決方法
緑色の LED が点滅。	バッテリー電圧が低い。	バッテリーを充電してください。

問題	想定される障害	解決方法
赤いエラー LED が点滅。	バッテリーは空です。	バッテリーを充電してください。
	温度の逸脱。	バッテリーは -10~40°C (14~104°F) の温度で使用してください。
	過電圧。	バッテリー充電器からバッテリーを外します。
赤いエラー LED が点灯。	電池の電位差が大きすぎる (1 V)。	サービス代理店にお問い合わせください。

バッテリー充電器

LED 表示	想定される障害	対応措置
警告インジケータが点滅。	温度の逸脱。	バッテリーは 5°C ~ 40°C の温度環境で使用してください。
警告インジケータが点灯。		サービス代理店にお問い合わせください。

搬送、保管、廃棄

搬送と保管

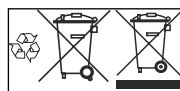
- 同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。
- 本製品を送送する前に、危険物に関して特別な訓練を受けた担当者にご相談ください。該当するすべての国内規制に従ってください。
- バッテリーを梱包するときは、露出している端子にテープを貼ってください。バッテリーを固定し、動かないように梱包してください。
- 保管するときや搬送時はバッテリーを外してください。
- バッテリーとバッテリー充電器は、乾燥して湿気や霜がない場所に置いてください。
- 静電気が発生するような場所にはバッテリーを保管しないでください。バッテリーは金属製の箱に保管しないでください。
- バッテリーは温度が 5~25°C (41~77°F) の場所に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- バッテリー充電器は温度が 5~45°C (41~113°F) の場所に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- バッテリー充電器は、周囲温度が 5°C ~ 40°C の場合にのみ使用してください。
- バッテリーを長期間保管するときは、充電量を 30~50% にしてください。

- バッテリー充電器は、密閉した乾いた場所に保管してください。
- バッテリーの保管中は、バッテリー充電器から遠ざけてください。子供や許可されていない他の人が機器に触れないようにしてください。施錠できる場所に装置を保管してください。
- 製品を長期間保管する場合は、その前に製品を清掃し、よく点検しておいてください。
- 搬送中および保管中に製品が傷ついたり損傷したりしないように、製品の移動用ガードを使用してください。
- 搬送中は製品をしっかり固定してください。

バッテリー、バッテリー充電器、および製品の廃棄

以下のマークは、本品が家庭ゴミではないことを示しています。電気・電子機器のリサイクル業者にリサイクルを依頼してください。これは、環境および人への被害を防止するためです。

詳細については、自治体の担当部局、家庭ゴミ収集業者、または販売店にお問い合わせください。



注記：マークは、製品または製品の容器に表示されています。

主要諸元

主要諸元

	330i	535i XP
モーター		
型式	BLDC (ブラシレス) 36 V	BLDC (ブラシレス) 36 V
特長		
低エネルギーモード	SavE	SavE
潤滑システム		
オイルポンプの型式	全自動	全自動
オイルタンク容量、L/cm ²	0.20/200	0.20/200
質量		
チェーンソー (バッテリー、ガイドバー、ソーチェーンなし、チェーンオイルタンクが空)、kg	2.5	2.6
防水レベル		
IPX4	あり	あり
騒音排出¹		
実測音響レベル dB (A)	104	104
保証音響レベル L _{WA} dB (A)	106	106
音量レベル²		
使用者聴覚での等価騒音レベル、dB (A)	93	93
振動レベル³		
フロントハンドル、m/s ²	3.5	4.1
リアハンドル、m/s ²	3.9	4.6
等価振動レベル⁴		
フロントハンドル、m/s ²	2.2	2.5
リアハンドル、m/s ²	2.4	2.8

¹ 環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワー (L_{WA}) として測定。

² 等価騒音レベルは ISO 22868 に則し、さまざまな作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算されます。等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつきは、1 dB (A) の標準偏差となります。

³ 振動レベルは EN 60745-2-13 に準拠。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は、1 m/s² です。正しい長さのガイドバーと推奨チェーンタイプが取り付けられた製品を測定したときの公称振動データです。異なる長さのガイドバーが製品に取り付けられている場合、振動レベルは最大 ± 1.5 m/s² まで変化する可能性があります。

⁴ 等価振動レベルは、燃焼機関駆動のチェーンソー用に測定、計算されたものです。これらの数値は、エンジンのタイプとは無関係に振動データを比較できるよう、ISO 22867:2011 に基づいて算出されています。

	330i	535i XP
ソーチェン/ガイドバー		
推奨のガイドバーの長さ、インチ/cm	10-14/25-35	10-14/25-35
切断できる長さ、インチ/cm	9-13/23-33	9-13/23-33
ドライブスプロケットの種類、歯数	Spur/6	Spur/7
最大チェン速度/ (SavE)、m/s	15 (12)	20 (15)

アクセサリ

ガイドバーとソーチェンの組み合わせ






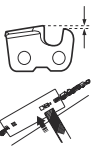


Husqvarna330i および 535i XP での使用が認可されている
 カuttingアタッチメントは次のとおりです。






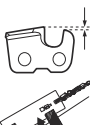
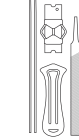

ガイドバー				ソーチェン	
長さ、インチ	チェンピッチ、 インチ	溝幅、mm	最大ノーズ半径	型式	長さ、ドライブ リンク (数)
10	3/8	1.1	7T	ハスクバーナ H38	40
12			9T		45
14					52
10	0.325 ミニ	1.1	8T	ハスクバーナ SP21G	46
12					51
14					59

目立て装置と目立て角度

Husqvarna の目立てゲージを使用すると、正しい目立て
 角度が分かります。ソーチェンの切れ味を回復させるに
 には、常に Husqvarna の目立てゲージを使用することを推
 奨します。部品番号を次の表に示します。

お使いの製品のソーチェンがわからない場合は、サービ
 ス代理店にお問い合わせください。

							
38	11/64 イン チ/4.5 mm	75°	30°	0°	0.025 イン チ/0.65 mm	5056981-03	5795588-01

							
21	5/32 インチ/4.0 mm	60°	30°	0°	0.025 インチ/0.65 mm	5950046-01	5950047-01

認可されたバッテリー

本製品には純正の BLi バッテリーのみを使用してください。

認可されたバッテリー充電器

バッテリー充電器	QC330	QC500
入力電圧、V	100~240	100~240
周波数 (Hz)	50/60	50/60
電力 (W)	330	500

EC 適合性宣言

Husqvarna AB, SE-561 82 Huskvarna, Sweden, tel: +46-36-146500 は、2019 の製造番号以降（年は銘板の製造番号の前に明記）のコードレスバッテリーチェーンソー Husqvarna 330i および 535i XP が、評議会指令（COUNCIL'S DIRECTIVES）の規定に適合していることを単独責任のもとで宣言します：

- 2006 年 5 月 17 日付「機械類に関する」 **2006/42/EC**
- 2014 年 2 月 26 日付「電磁波適合性に関する」 **2014/30/EU**
- 2000 年 5 月 8 日付「環境への騒音排出に関する」 **2000/14/EC**
- 2011 年 6 月 8 日付「電気・電子製品に含まれる特定有害物質の使用制限に関する」 **2011/65/EU**

次の標準規格にも適合しています： EN 60745-1:2009+A11:2010, EN 60745-2-13:2009+A1:2010, EN 55014:2006+A1:2009, EN 61000-6-2:2005, EN 50581:2012

公認機関（0404）：RISE SMP, Svensk Maskinprovning AB, Box 7035, SE-750 07, Uppsala（スウェーデン）が機械指令（2006/42/EC）の条例 12、項目 3b に基づき EC タイプコントロールテストを実施しました。EC タイプコントロールテストの証明書の番号は次のとおりです。0404/19/2522

さらに、RISE SMP, Svensk Maskinprovning AB、Box 7035, SE-750 07, Uppsala（スウェーデン）が、2000 年 5 月 8 日付けの「環境への騒音排出に関する」評議会指令 2000/14/EC の付録 V に適合することも認定しました。承認証番号：01/162/003

納品されたチェーンソーは、EC タイプコントロール適格のサンプル品に相当するものです。

騒音排出に関する詳細は、「主要諸元 34 ページ」を参照してください。

Huskvarna, 2019-01-15



開発マネージャー Pär Martinsson（ハスクバーナ AB 正式代表兼技術文書担当）



www.husqvarna.com

取扱説明書原本

1140988-79



2020-04-29